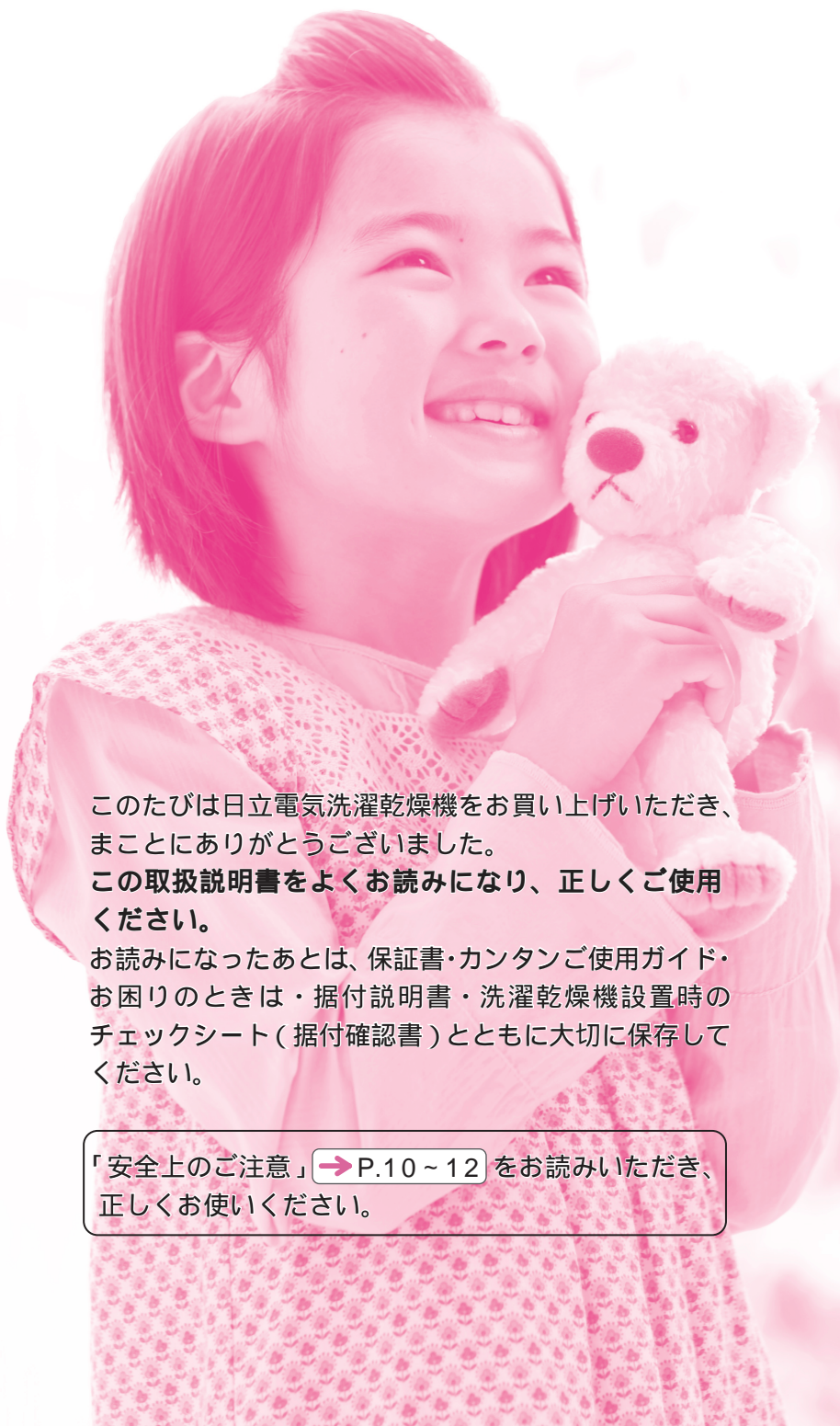
HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書・据付説明書別添付

日立電気洗濯乾燥機
型式
NW-D6HX

このたびは日立電気洗濯乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・お困りのときは・据付説明書・洗濯乾燥機設置時のチェックシート（据付確認書）とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→P.10～12をお読みいただき、正しくお使いください。

パワー浸透洗浄
洗乾 白い約束
日立洗濯乾燥機

もくじ

ご使用の前に

使いかた

お手入れ・アフターサービス

はじめに（特長）

パワー浸透洗浄

●インバーターモーターで洗剤をパワフルにかくはんしながらしっかり溶かします。溶かした濃縮洗剤液を衣類に浸透させることで、汚れを芯から引きはがします。

洗剤を洗剤トレイに投入すると、ワイドフラップパルの下に落ち、裏羽根でかくはんして溶かし、濃縮洗剤液をつくります。

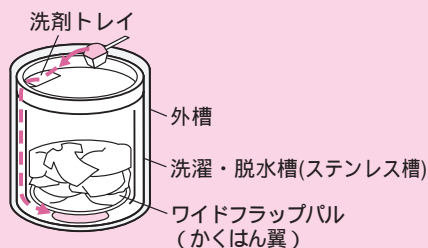
洗剤トレイ

洗濯・脱水槽

洗剤トレイ

外槽

洗濯・脱水槽(ステンレス槽)

ワイドフラップパル（かくはん翼）

洗剤は洗剤パワーを引き出すために、洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)に入れてください。

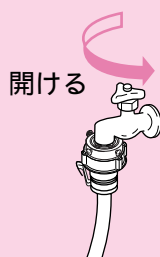
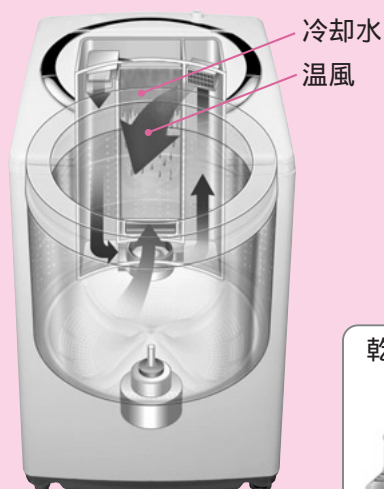
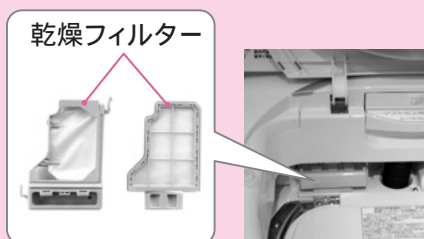
➔ P.24

カラッと乾燥(水冷除湿方式)

●乾燥時に衣類から出る湿気を水で冷やし、水分に変えて排出する「水冷除湿方式」だから、スピーディーに、快適に乾燥。室内の温度上昇や湿気、結露・カビを抑えます。

冷却水

温風

開ける

水を使って冷却・除湿しているため、乾燥時も水栓を開けて運転してください。

乾燥フィルター

乾燥のたびに乾燥フィルター(2種類)をお手入れしてください。乾燥効率の低下を防ぎます。

➔ P.62

途中でふたを開けたいときは…

●安全のために、洗濯中や乾燥中はふたがロックされます。
解除方法は以下の通りです。

洗濯運転時	乾燥運転時
スタート/一時停止 を押す	スタート/一時停止 を押す
ふたロックが解除されます。	洗濯・脱水槽内が高温のため1～15分の冷却運転後に、ふたロックが解除されます。 乾燥運転を開始してから8～20分の間(コースや洗濯物の量によって異なる)は、一時停止しても再スタートすることができます。 それ以降は冷却運転後オートオフします。 再度運転したい場合は、電源を入れ、運転してください。

冷却運転終了後も、ふた周辺や衣類(ファスナーや金属ボタン)が高温になっている場合がありますので、やけどに十分注意してください。

乾燥運転中は内部が熱いので、ふたは冷めるまで開きません。

お問い合わせの多い項目

仕上がりを良くするポイント

洗濯：●糸クズが気になる →P.18、19

乾燥：●乾燥シワ・ムラが気になる →P.20、21

●風呂水が吸水されない →P.27、67

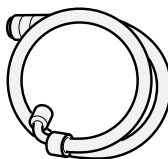
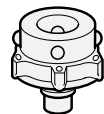
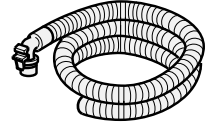
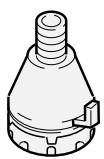
●設定のしかた →P.28

●風呂水設定時、給水されない →P.67

●音や振動について →P.67、68

●運転しない →P.66

●「C6」表示をする →P.64

お問い合わせの多い
項目をまとめました。

各部のなまえ・付属品

■ → のあとの数字は
主な説明のあるページです。

電源コード

アース線
→据付説明書P.9

水準器

洗濯・脱水槽

洗剤トレイ →P.24、59
（洗剤・漂白剤投入口）

バランス
リング

糸くず
フィルター
（2か所）
→P.58

ワイドフラップパル
（かくはん翼）

ホース掛け穴
お湯取ホース掛け
取付用兼用穴
→P.27

ふたロック
→P.55

排水ホース
→据付説明書P.6

操作パネル
→P.8、9

調節脚 →据付説明書P.8
前右側の脚の高さ
を調節できます。

付属品（「据付説明書」を参照ください。）

給水ホース（約0.8m）	ワンタッチつぎて	お湯取ホース（約4m）（吸水ホース）	クリーンフィルター
（1本）	（1個）	（1本）	（1個）

風呂水吸水口
➔P.27、60

給水口
➔P.61

ふた取っ手

ソフト仕上剤投入口

ソフト仕上剤投入ケース
➔P.25、59

ふた

開閉時のご注意
- ●ふたが折り曲がる部分のミゾに指を入れないでください。けがをする恐れがあります。
- ●ふた取っ手を持ってふたの開閉を行ってください。

乾燥フィルターA
➔P.62

内ふた

内ふたを閉める際は、取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押して、確実に閉めてください。
故障の原因になります。

乾燥フィルターB
➔P.62

内ふた取っ手

脚キャップ（高さ調整用）	お湯取ホース掛け ➔P.27	スイコミノズル ➔P.63	遮音トレイ
4mm　8mm			
（4個）	（1個）	（1個）	（1個）

操作パネルのはたらき

温風脱水表示

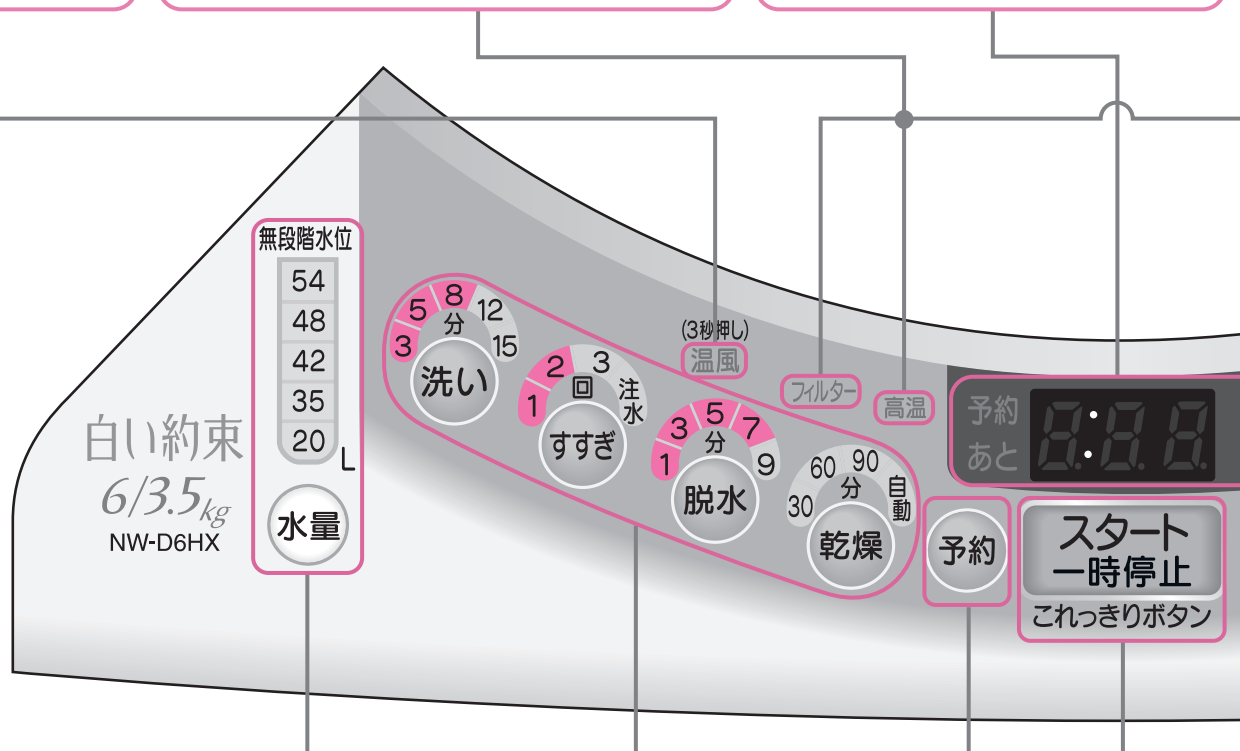
温風脱水を設定したときに点灯します。

➔P.54

お知らせ表示

⊸(ふたロック) ➔P.55	●ふたがロックされているあいだランプが点灯します。
高温	●洗濯・脱水槽が高温のとき点灯または点滅します。
フィルター ➔P.65	●乾燥フィルターが目詰まりしたときに点灯または点滅します。

残時間・予約時間表示

運転スタート後に残時間の目安を表示します。➔P.33
予約ボタンを押すごとに予約設定時間が表示されます。
予約運転スタート後は「予約」のみが点灯します。➔P.48

水量を変える ➔P.22、45

お好みに合わせて水量を設定できます。

●「ドライ」コースの場合は「35L」「20L」のみ設定できます。
●洗いやすすぎ中に水を足したいときは、「水量」ボタンを押してください。押している間給水します。(各コースの最高水位以上は給水しません ➔P.50～53)

運転内容を変える ➔P.46、50～53

「洗い」「すすぎ」「脱水」「乾燥」の内容や組合せを切り替えます。

●スタート後は、「一時停止」を押して変更します。
「洗い」が終わると変更できません。
●内容を変更できないコースもあります。

予約をする ➔P.48

何時間後に運転を終了させるか、3～12時間後まで1時間単位で予約できます。

●予約設定できないコースもあります。
●「乾燥」運転はどのコースも予約できません。

■電源を入れたあと3秒押し操作で設定が変わるボタン

ボタン	内容	ボタン	内容
洗濯	ほぐし脱水の「ほぐし」行程の設定・解除ができます。(設定「h」、解除「－」で表示します) ➔P.54	水量	メロディ(ブザー)音が変えられます。 ➔P.55
洗▸乾	温度センサー制御の設定・解除ができます。 ➔P.54	洗い	標準コースを選んでから3秒押しで、運転中はいつでもふたをロックするように設定できます。 ➔P.55
乾燥	ふんわりガード機能の設定・解除ができます。 ➔P.56	すすぎ	「念入り」コースですすぎを3回(注水3回、ため3回)設定に切り替えます。 ➔P.56

カビブロック

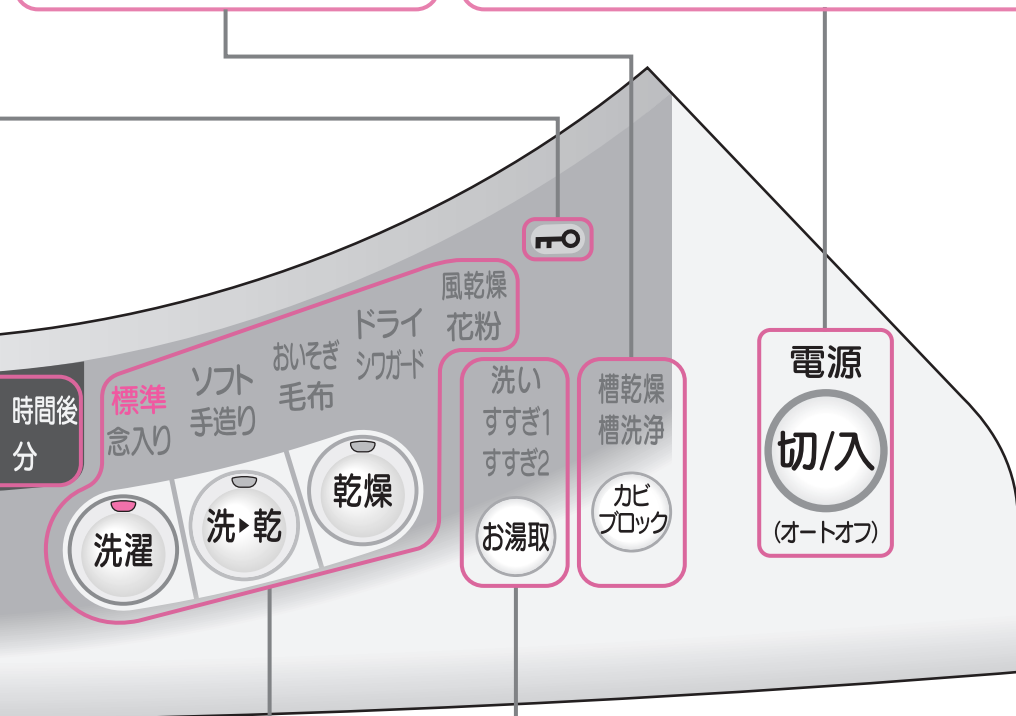
「槽乾燥」コースまたは「槽洗浄(3時間)」コース、「槽洗浄(11時間)」コースが選べます。 ➔P.57

電　源

電源の入・切を行います。

●運転が終了するとメロディ(ブザー)が鳴って、自動的に電源が切れます。➔P.55

●スタートさせずに5分間放置すると自動的に切れます。➔P.66

●電源を切ったあと、約5秒間はボタン操作を受け付けません。再度電源を入れたいときは、コースランプ消灯後、電源ボタンを押してください。

スタート／一時停止

運転のスタートや、一時停止を行います。

●乾燥中に「一時停止」を押しても、洗濯・脱水槽内が冷えるまでふたは開きません。➔P.5、55

●運転中に「一時停止」を押しても、洗濯・脱水槽の回転が止まるまでふたは開きません。➔P.55

コースを選ぶ ➔P.32、34

「洗濯」「洗▸乾」「乾燥」ボタンを押すと、選べるコースが順に点灯します。

●「洗濯」「洗▸乾」「乾燥」によって、選べるコースは異なります。

風呂水を使う ➔P.28

「お湯取」ボタンを押すと、風呂水を利用する行程が順に点灯します。

●風呂水を利用しないときは、ボタンを押してランプをすべて消してください。

●前回選んだ内容を記憶します。

●設定できないコースもあります。

ボタン	説明	参照
脱水	温風脱水の設定・解除ができます。	➔P.54
乾燥	乾き具合の調節ができます。	➔P.56
スタート 一時停止	終了予告音の設定・解除ができます。	➔P.55

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	**この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。**
⚠ **注意**	**この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。**

絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警告

●火災・感電・けがの原因になります。

電源プラグや電源コードは

●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセントが異常発熱して、発火することがあります。

●電源プラグを抜くときは、きちんと電源プラグを持って抜く
感電やショートして発火することがあります。

●電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく
火災の原因になります。

●お手入れの際や長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。

●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。

●傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

●電源コードを傷つけない
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・はさみ込むなどしない〕
電源コードが破損し、火災・発火の原因になります。

●テーブルタップによるタコ足配線はしない
火災・発火の原因になります。

アース線は

●アース線は取り付ける
アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

⚠警告

そのほか

●動かなくなったり、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する
感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

●分解したり、修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。(修理は販売店などにご相談ください)

●お手入れするときなどは、本体各部に直接水をかけない
ショート・感電の原因になります。

●お湯取ホースで灯油、ガソリンなど水以外のものを吸い込まない
爆発や火災の原因になります。

●入浴中は風呂水吸水をしない
万一の感電を防ぐためです。

洗濯物や洗剤は

●食用油、動植物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジンやシンナー、ガソリン、美容オイル、軟膏剤などの付着した衣類、くつ(スニーカー)、帽子などは洗濯後でも乾燥しない。また、スポンジの入ったものも乾燥しない
油などの酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。

●洗剤を入れすぎない
洗剤は規定量を守ってご使用ください。泡が大量に発生して本体が故障し、水漏れや感電をする恐れがあります。

運転中、運転後は

●洗濯・脱水槽が完全に止まるまでは、中の洗濯物などに手などを触れない
ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついて大けがをする恐れがあります。
特にお子様にはご注意ください。

据え付けのときは

●浴室など湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない
感電や漏電による火災の恐れがあります。

本体の近くには

●引火物は洗濯・脱水槽に入れない、近づけない
〔灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールやそれらの付着した洗濯物〕
爆発や火災の恐れがあります。

●ローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気を近づけない
火災の恐れがあります。

●操作パネル部付近には、磁石などの磁気を帯びたものを近付けない
ふたが開いた状態でも、洗濯・脱水槽が回転することがあります。

●幼児に洗濯・脱水槽の中をのぞかせない。また、本体の近くに台を置かない
洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをすることがあります。

安全上のご注意(続き)

⚠注意

●水漏れ・けがの原因になります。

洗濯物は

●防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水・乾燥をしない
洗濯物が傷んだり、脱水中に異常運転して、けがをする恐れがあります。

例えば
釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、おむつカバー、自転車・バイク・自動車カバー、防水性マット・シート、足ふきマットなど固くて厚いものなど

運転前後、運転中は

●洗濯・乾燥前は水栓を開いて、水漏れがないか確認する
ねじが緩んだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
●使用しないときは、水栓を閉じておく
万一の水漏れを防ぐためです。
●据え付け直後や移設直後など、水栓接続を変えたあとには、まず水栓を開いて、水漏れがないか確認する

●ロックされた状態のふたを無理に開けない ➔ P.55
ふたやロック機構が破損し、けがをしたり洗濯・乾燥ができなくなります。

●運転中は本体の下に手足などを入れない
けがの原因になります。
●乾燥中や終了後は、ふた周辺や金属部、衣類(ファスナーや金属ボタン)には触らない
やけどの原因になります。

風呂水を使うときは

●浴槽の水面より風呂水吸水口が低くなる場所では使用しない
サイホン現象により、ポンプ運転が終了しても水が出っ放しになります。
●お湯取ホースのクリーンフィルターを浴槽に入れたまま吸水つぎてを外さない
サイホン現象により、風呂水が流れ出して床面を濡らす恐れがあります。

そのほか

●給湯機からの温水は使用しない → 本体の故障や水漏れの原因になります。
●内ふたを閉めるときに衣類をはさまない → 本体の故障や水漏れの原因になります。
●本体の上にのぼったり、重いものを載せたりしない
●50℃以上のお湯は使用しない → 本体の故障や水漏れの原因になります。
●キャスターの付いている台や、不安定な場所に据え付けない
本体の異常振動により、けがや本体故障の原因になります。

●ふたなどのプラスチック部品や、本体に洗剤(特に液体洗剤)やソフト仕上剤がついた場合は、湿った柔らかい布ですぐに拭きとる
本体のさびの発生、破損、プラスチック部破損の原因になります。
●防水パンや洗濯機トレーを設置する
●排水口が掃除できるように設置する

使用上のご注意

■運転中は電源プラグを抜かない

●故障の原因になりますので、一時停止あるいは電源を「切」にしてから、プラグを抜いてください。

■テレビやラジオを近づけない

●テレビに線が入ったり、ラジオ・テレビの雑音の原因になります。

■操作パネル付近に磁石、磁気カード（キャッシュカードなど）を近づけない

●誤動作が起きたりカードが使えなくなることがあります。

■断水後や一度給水ホースを外して再取り付けした場合は、水栓を閉め、カビブロックの「槽洗浄」コースを選んで、スタートボタンを押してからゆっくり水栓を開く
(長期間使用しなかった場合も同様)

●給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧により、本体が破損し、水漏れやけがをする恐れがあります。

■洗濯物は入れ過ぎない

●衣類が洗濯・脱水槽からはみ出して破れたり、プラスチック部品の破損の原因になります。

●洗濯時間が長くなったり、洗濯ムラや乾燥ムラになることがあります。

■入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従う

●色移りや変色などを防ぐためです。

●発泡タイプ、ゼリータイプ、とろみタイプの入浴剤は風呂水を吸水できない場合がありますので、使用しないでください。

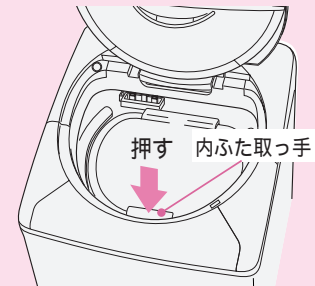
■結露に注意

●夏季など湿度が高いとき、冷水などの使用で本体の外側が結露し、床面をぬらすことがあります。

●この場合は、防水パン、洗濯機用トレー(YT-1)の使用をおすすめします。➔ P.75

■内ふた閉める際は、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押す

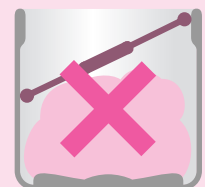
●内ふたを確実に閉めないと水漏れや故障の原因になります。

●内ふたが破損したり、取れたままでは運転しないでください。

■乾燥中の換気は十分に

●衣類を効率よく乾燥させるために換気を十分にしてください。

●冬季など室温が低いとき、換気が不十分な場合は、窓や壁などが結露する場合があります。

■お洗濯キャップ(別売り)は斜めに取り付けない。また、洗濯の「毛布」「ドライ」コース以外では使用しない

●お洗濯キャップの飛び出しによりけがをしたり、本体が破損する恐れがあります。

■排水口(排水トラップ)は定期的に清掃する（1回/月）

●糸くずや異物詰まりにより、水漏れなどの原因になることがあります。

お洗濯の手順

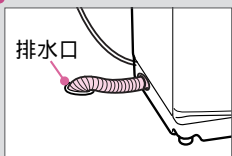
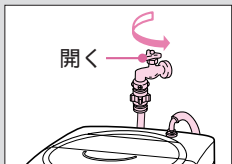
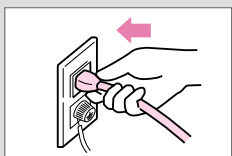
32 ページ　洗濯をする　洗濯

32 ページ　洗濯～乾燥をする　洗▸乾

34 ページ　乾燥をする　乾燥

準備をする

本体

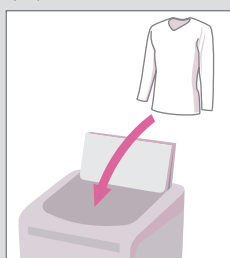
1 排水ホースをセット

2 水栓を**ゆっくり**開く

3 電源プラグをコンセントに差す

4 糸くずフィルター、乾燥フィルターが取り付いていることを確認する

5 風呂水を使うときはお湯取ホースを準備する ➔P.26

洗濯物

➔P.16～21

1 洗濯物を仕分ける
前処理する

2 洗濯・脱水槽に入れる

洗濯物にあったコースを設定する

コースについては

➔P.32～35

1 電源を入れる

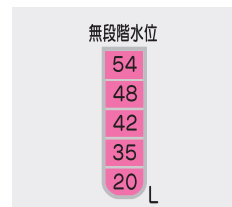
2 コース・機能を設定する

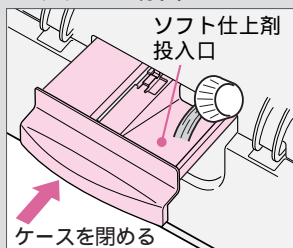
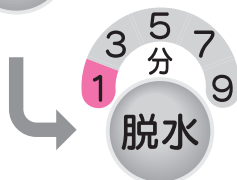
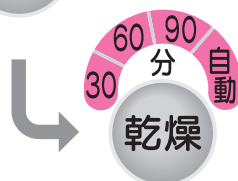
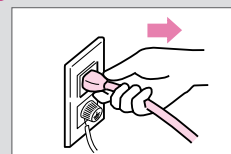
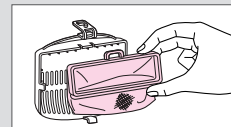
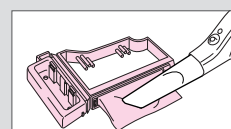
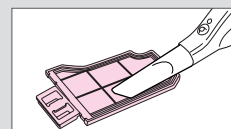
3 運転をスタートする

洗濯物量をセンサーが計測する

計測中表示

水が入る前に約30秒かくはんして計測します

水量を表示

残時間を表示

洗剤・ソフト仕上剤を入れる
洗剤投入の流れについては
P.22～25
1 洗剤を入れる
洗剤トレイを閉める
洗剤トレイ
2 漂白剤を入れる場合
洗剤トレイを閉める
洗剤トレイ
3 内ふたを閉める
確実に閉めてください。
4 ソフト仕上剤を入れる場合
ソフト仕上剤投入口
ケースを閉める
5 ふたを閉める
洗い
すすぎ
脱水
乾燥
設定内容を自動運転する
●洗剤を溶かす
●洗う
3
5
8
分
12
15
洗い
●すすぐ
1
2
3
回
注水
すすぎ
●脱水する
1
3
5
分
7
9
脱水
●乾燥する
30
60
90
分
自動
乾燥
片づけやお手入れをする
お手入れについては
P.58～63
1 水栓を閉める
閉める
2 電源プラグを抜く
3 糸くずフィルターと乾燥フィルターのお手入れをする
糸くずフィルター P.58
乾燥フィルターA P.62
乾燥フィルターB P.62

洗濯物の準備をする

ご注意 ●取扱絵表示を確認してください。

仕分けと確認

次の物は洗濯も乾燥もできません

●皮革毛皮製品
皮革装飾品

●レーヨン、キュプラおよびその混紡品
・縮んだり、型くずれしたり、変色する場合があります。

●ネクタイ、スーツ、コート
・縮んだり、型くずれする場合があります。 → P.35

●絹の衣類
・縮んだり、型くずれしたり、変色する場合があります。

●装飾品(羽、毛皮など)のついた衣類

●和服、和装小物

●洗濯絵表示 (ドライ セキユ系) のもの

●ウールなどで強くよじった糸(強撚糸)を使用したもの(特に織り柄)

●コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工をしたもの

●ベルベットなどのパイル地、純毛の毛布、ロングパイル(毛足10mm以上)の毛布、カーペットカバー

●取扱絵表示、素材表示のないもの

●色落ちしやすいもの
※単独で洗ってください。 → P.19

●防水性製品 → P.12
・洗濯物が片寄りやすく、本体の故障、洗濯物の破れの原因になります。

●裏面にゴムが付いているマット類/厚手または毛足の長いマット類(玄関マット、カーペット、ラグマット、敷物など)
・衣類が片寄りやすく、本体の故障の原因になる恐れがあります。

●ペットの毛が付着した衣類・敷物など
・毛が配管や循環経路に詰まり、故障の原因になる恐れがあります。

●市販の洗濯補助具(洗濯ボール、ゴミ取りフィルターなど)

次の物は乾燥できません

●のり付けした衣類

●ゴム類やゴムなどをコーティングした衣類

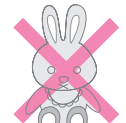
●スポンジの入ったもの(ぬいぐるみなど)

●色の濃いプリントの衣類

●(ヨワク) 表示のあるもの

●アイロン表示 (低) で低温度の指定があるもの

●アイロン表示 でアイロンがけできないもの

●タンブラー乾燥はお避けくださいなどの表示があるもの

●ふとんや座布団、枕などわたを使ったもの

●縮みやすい衣類 → P.21、35

※●タイツ、レースや刺しゅうなど、飾りや付属品のあるもの：新合織(超極細繊維)

※● (平) 表示のあるもの

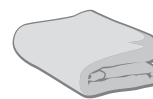
※●ウールなどの獣毛製品、混紡製品

※●洗濯絵表示 (ドライ) のもの

※洗濯物の素材によっては「ドライ」コースで乾燥できる物があります。 → P.40

洗濯物の重さの目安

ブリーフ
(木綿　約50g)

長袖
アンダーシャツ
(木綿　約150g)

バスタオル
(木綿　約300g)

くつ下
(木綿　約50g)

ブラウス
(混紡　約200g)

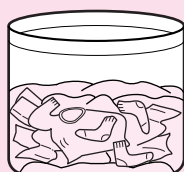
パジャマ
(上・下)
(木綿　約500g)

タオル
(木綿　約70g)

ワイシャツ
(混紡　約200g)

シーツ
(木綿　約500g)

洗濯・脱水槽への入れかた

■洗濯物はできるだけ均一に入れる

■大物や水に浮きやすいものから先に入れる

●布の動きがよくなります。

■ジーンズなど厚手のものは均一によく押し込む

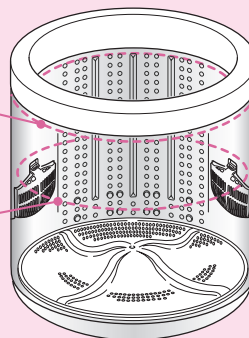
●給水中に上から手で押さえ、水を十分にしみ込ませてください。

■洗濯物が極端に少ないとき(約1kg以下)

●洗濯物が極端に少ないときは乾きが足りなくなることがあります。乾いたタオルなどを一緒に入れると乾きむらが少なくなります。

ご注意 ●ジーンズやタオルケットなどの厚手の衣類だけをお洗濯すると、衣類の片寄りによって、アンバランス検知し、脱水が立ち上がりにくくなります。➔ P.64

衣類3.5kgの目安※
●洗濯・脱水槽のステンレス部の上端までが目安です。

衣類3.5kgの目安
（脱水後の衣類のとき）
●糸くずフィルターが隠れる程度が目安です。

※位置の目安は乾燥状態の衣類を押さえこむ前の状態です。

洗濯の仕上がりを良くするポイント

洗濯の準備をするときは

糸くずが気になるものは ネットに入れる

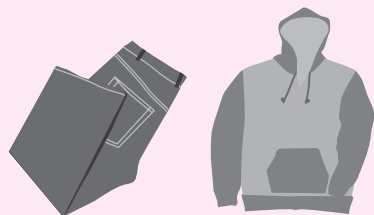
●起毛素材の衣類や濃い色の衣類、ストッキングなど、糸くずの付着が気になる衣類は、市販の「糸くず防止用洗濯ネット」に入れて洗ってください。

デリケートな衣類は ネットに入れる

●レースのついた衣類やブラウス、ストッキング、タイツなどは、市販の「洗濯ネット」に入れてください。

●ワイヤー入りブラジャーは、市販の「ブラジャー専用ネット」に入れてください。

色落ちしやすいものは 分けて洗う

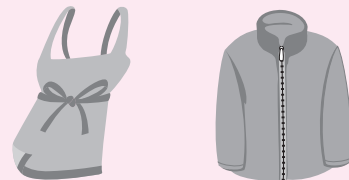
●著しく色落ちする衣類は、単独で洗ってください。

大きなゴミ、どろや砂、髪の毛、ペットの毛は取り除く

●排水経路や乾燥経路にゴミや異物が詰まり、故障の原因になります。

硬貨やヘアピンなどは取り除く（ポケットの中も忘れずに）

●衣類を傷めたり、故障の原因になります。

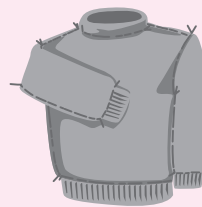
ひもは結んで、ファスナーは閉める

●ファスナーなどによる洗濯物の傷みや、本体の故障を防ぐためです。

しみは早めに処理しておく

●しみは時間がたつと落ちにくくなりますので、洗濯前に部分洗い洗剤などで処理しておくと、より効果的です。

毛玉や糸くずが気になるものは裏返す・分けて洗う

●セーターなど糸くずが気になるものは裏返してください。

●気になるものは、タオル、バスタオルとは分けて洗ってください。

洗濯するときは

タオルなどのゴワゴワ感が気になるとき

タオルなどはパイルが寝て、ゴワゴワすることがあります。

●水量を多くして運転しましょう。
たっぷりの水で運転するので、仕上がりがよくなります。

水量を多くする

●ソフト仕上剤のご使用もおすすめです。

糸くずが気になる衣類は

食べこぼしや糸くずなどの固形の汚れが衣類に残る場合があります。

●糸くずが気になる場合には、水量を高めに設定したり洗濯時間の延長、すすぎの設定をため2回にすると糸くずが取りやすくなります。

すすぎ回数を増やす

水量を多くする

色落ちしやすい衣類は

かくはん翼でこすられると、色落ちすることがあります。

●単独で洗ったり、水量を多くして運転しましょう。

単独で洗う　水量を多くする

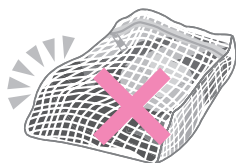
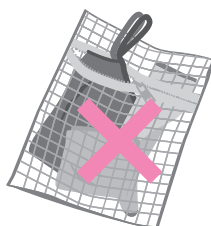
シワが気になる衣類は

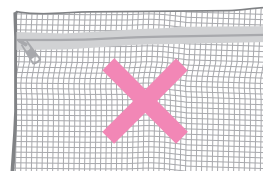
衣類の種類によっては、シワがつきやすいものがあります。

●水量を多くして運転しましょう。
●「ソフト」コースを使いましょう。

ソフト　水量を多くする

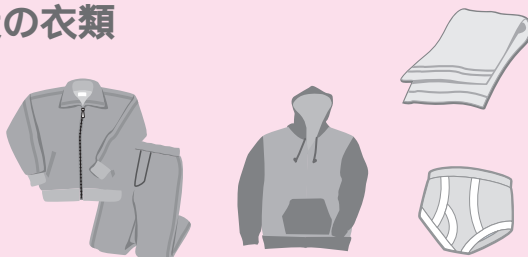
洗濯ネットを使うときのお願い

●ネットには衣類を詰め込み過ぎないでください。

●ネットのファスナーはきちんと閉めてください。

●40cm×40cm以上の大きなネットは使用しないでください。異常振動の原因になったり、衣類が片寄り、運転できないことがあります。

大きなネット

乾燥の仕上がりを良くするポイント

衣類の種類によって、乾燥運転のコースを使い分けましょう。

■シワになりにくい普段の衣類

●トレーナー
●タオル類
●トレーニングウェア
●ブリーフなど

▶ **標準コース**

■シワになりやすい衣類

●綿シャツなどの長い形状の衣類
（特に薄手の綿シャツ）
●シーツ類などの大物
●パジャマ、ハンカチ、Tシャツ
●ジーンズなどの硬く厚い衣類
●綿パンなど
●ブラウスなど

▶ **シワガードコース**

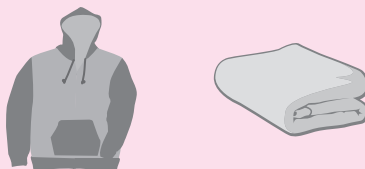
▶ **標準コース「30分」**

■熱に弱い衣類

●キャミソール、水着
●化繊100%のブラウス、
下着など

▶ **風乾燥コース**

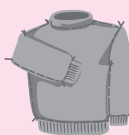
■乾きにくい厚手の衣類

●厚手のトレーナー
●バスタオルなど

▶ **念入りコース**

ちょっとアドバイス

●まとめて洗濯～乾燥をするときは、洗▶乾の「標準」コースで「30分」を選んで、運転終了後、シワになりやすい衣類を取り出し、すぐに吊り干し乾燥してください。
残った衣類は、乾燥の「標準」コースで運転してください。

衣類の毛玉や静電気を少なくするには

●毛玉の気になる衣類は、裏返しにしてください。
●市販の静電気防止剤をご使用ください。
「洗▶乾」運転のときは、ソフト仕上剤をご使用ください。
「乾燥」運転のときは、静電気防止用シートをご使用ください。

「洗▶乾」運転はソフト仕上剤で

「乾燥」運転は静電気防止用シートで

シワを少なくするには

●衣類には、乾燥でシワがつきやすいものがあります。これは、どのような乾燥機でも同じで、ある程度のシワは避けられませんが、本機の場合、従来の乾燥機に比べると衣類の種類や形状によっては、シワになりやすいものがあります。

●綿のワイシャツなど長い形状の衣類は、洗▶乾の「標準」コースで乾燥した場合、シワが多くなります。

洗▶乾の「標準」コースの
仕上がり具合

●脱水運転後、いったん洗濯物を取り出して、脱水ジワをのばしてから乾燥すると、シワを少なくすることができます。

シワガードコース
少し湿り気を残して乾燥を終了します。終了後はすぐに吊り干ししてください。

標準コース「30分」
洗濯後、約30分乾燥するので、そでなどの脱水ジワを抑えられます。終了後は、すぐに吊り干ししてください。

標準コース（2.0kg）
衣類の量を減らすとシワを少なくすることができます。

乾きムラを少なくするには

●厚手の衣類は乾きムラが発生することがあります。乾燥の「標準」コースでもう一度乾燥してください。

●衣類の量を少なめにしてください。

●厚手の衣類と、薄手の衣類は分けて乾燥してください。

●乾き具合を「強め」に設定してください。➔P.56

乾燥の「標準」コースでもう一度

衣類の量を少なめに

厚手と薄手の衣類は分けて乾燥

衣類の縮みが気になるとき

サマーセーターや厚手のくつ下など、特に縮みやすい衣類は、次のことをお試しください。

●天日乾燥を併用してください。
（天日乾燥をした後仕上に乾燥を行う）

●乾燥の「ドライ」コースで運転してください。

天日乾燥の併用がおすすめ

乾燥の「ドライ」コースで

洗濯量と洗剤量・漂白剤量・ソフト仕上剤量について

洗濯量の検知と水量表示

1 **洗濯物を入れてお好みのコースを設定し、「スタート」ボタンを押すと…**

▼ **かくはん翼と洗濯・脱水槽が回転し、洗濯物の量をセンサーが計測する**

水が入る前に、約30秒かくはんして計測します。

測定中表示

予約 あと -:-- 時間後 分

▼ **洗濯量に応じた水量を表示する**

無段階水位

54 48 42 35 20 L

計測後、運転時間(目安)に変わる

予約 あと 1:30 時間後 分

表示例：1時間30分

予約 あと 30 時間後 分

表示例：30分

2 **右表を参考に洗剤、漂白剤、ソフト仕上剤を投入する**

ご注意

●「洗剤UVカット」は泡立ちが良すぎるため、ご使用できません。

洗濯量 (kg) (目安)	水量 (手動設定)
6	54L
5	48L
4	42L
3	35L
2	
1	20L

洗濯量について

●表の洗濯量はJIS(日本工業規格)で規定された布地を洗濯した場合のものです。
洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗濯量が変わります。
通常の衣類では洗濯量は表示の7～8割が適当です。
●「洗▶乾」「乾燥」運転での定格容量は3.5kg以下です。

洗濯量と洗剤量・漂白剤量・ソフト仕上剤量

下表以外の洗剤は使用しないでください。
操作パネルの水量表示に合わせて洗剤をご使用ください。

<table>
<tr><th colspan="6">合成洗剤</th><th colspan="2" rowspan="2">石けん(天然油脂)</th><th colspan="3" rowspan="2">ソフト仕上剤</th><th rowspan="3">漂白剤</th></tr>
<tr><th colspan="5">コンパクトタイプ</th><th>中性洗剤</th></tr>
<tr><th colspan="2">粉末</th><th colspan="4">液体</th><th>粉末</th><th>液体</th><th colspan="2">濃縮</th><th>普通</th></tr>
<tr><td>水30Lあたり
20g</td><td>水30Lあたり
25g</td><td>水30Lあたり
20mL</td><td>水30Lあたり
25mL</td><td>水30Lあたり
40mL</td><td>水30Lあたり
36g</td><td>水30Lあたり
40mL</td><td>水30Lあたり
7mL</td><td>水30Lあたり
10mL</td><td>水30Lあたり
20mL</td><td>水30Lあたり
40mL</td></tr>
<tr><td>アタック
トップ
部屋干しトップ
ブルーダイヤ
アリエール</td><td>アタック ALL in
ニュービーズ
ボールド</td><td>液体アタック
アリエール
イオンパワージェル</td><td>液体ふんわり
ニュービーズ
リキッドトップ</td><td>エマール
アクロン</td><td>そよ風</td><td>洗濯用
液体複合
石けん</td><td>ハミング
(濃縮タイプ)
ふんわり
ソフラン
レノア</td><td>ハミングフレア
しわスッキリ
ソフラン
香りとデオドラントのソフラン</td><td>ハミング
ソフランS</td><td>手間なし
ブライト
ワイド
ハイター</td></tr>
<tr><td>36g</td><td>45g</td><td>36mL</td><td>45mL</td><td>72mL</td><td>65g</td><td>72mL</td><td>13mL</td><td>18mL</td><td>36mL</td><td>72mL</td></tr>
<tr><td>32g</td><td>40g</td><td>32mL</td><td>40mL</td><td>64mL</td><td>58g</td><td>64mL</td><td>11mL</td><td>16mL</td><td>32mL</td><td>64mL</td></tr>
<tr><td>28g</td><td>35g</td><td>28mL</td><td>35mL</td><td>56mL</td><td>50g</td><td>56mL</td><td>10mL</td><td>14mL</td><td>28mL</td><td>56mL</td></tr>
<tr><td>23g</td><td>29g</td><td>23mL</td><td>29mL</td><td>47mL</td><td>42g</td><td>46mL</td><td>8mL</td><td>12mL</td><td>23mL</td><td>47mL</td></tr>
<tr><td>13g</td><td>17g</td><td>13mL</td><td>17mL</td><td>27mL</td><td>24g</td><td>26mL</td><td>5mL</td><td>7mL</td><td>13mL</td><td>27mL</td></tr>
</table>

洗剤量について

家庭用品品質表示法の改正に伴い、メーカーにより洗剤の標準使用量(水30Lに対し○○g)が表示されていないものもあります。洗剤容器にある「使用量の目安」を参考にしてください。

●軽い汚れの場合は、上の表の半分程度(5～6割)が適当です。
●水に溶けにくい洗剤は、溶かしてから入れてください。➔P.30
●タブレット、シート、キューブタイプの洗剤は入れすぎると溶け残る場合があります。

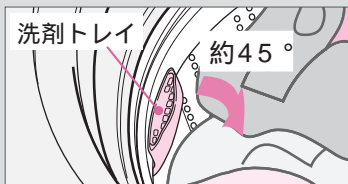
洗剤・漂白剤・ソフト仕上剤を使う

洗剤〜ソフト仕上剤投入の流れ

「毛布」「ドライ」コースの場合は、スタート前に入れる ➔P.38、42

スタート 一時停止 を押す → 水量表示 → 洗剤投入

粉末合成洗剤・液体合成洗剤

1 洗剤トレイを開ける

約45°まで開きます。無理に開けないでください。

2 洗剤を入れる

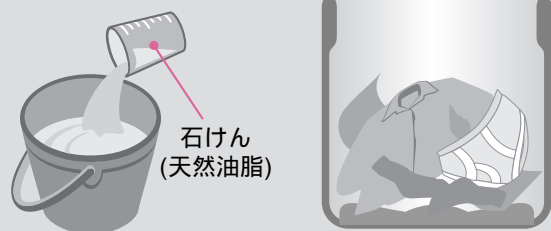
3 洗剤トレイを閉める

「カチッ」と音がするまで確実に閉めてください。

●衣類の量が多く、洗剤トレイが開けにくい場合は、衣類を洗剤トレイの反対側によせて、洗剤トレイを開けてください。

石けん(天然油脂)

天然粉石けん、液体石けん、複合石けんなどは、よく溶かしてから洗濯・脱水槽内に入れる。 ➔P.30

よく溶かしてから洗濯・脱水槽へ

お願い

●洗剤トレイにほこりが付着した場合は、水で洗い流してください。(ほこりがたまったまま洗剤を投入すると、途中で詰まり、洗剤が溶け残る恐れがあります)

ご注意

●洗剤トレイやバランスリングがぬれているときは、水滴をふいてから洗剤を入れてください。
●洗剤は洗剤トレイの奥に入れてゆっくり閉めてください。洗剤が飛び散る恐れがあります。
●洗剤のこびりつきがあると、洗剤トレイを閉めても洗剤トレイ内に洗剤が残るときがあります。2、3度開閉を繰り返すか、それでも残るときは清掃してください。➔P.59
●洗剤トレイに固まっている洗剤を入れると、洗剤が残るときがありますので、砕いてから入れてください。
●液体洗剤は、洗剤残りを少なくするため、水でうすめてから洗剤トレイに流し込んでください。
●タブレット、シート、キューブタイプなどの洗剤をご使用になるときは、よく溶かしてから直接洗濯・脱水槽内に入れてください。
●洗剤の種類により、スプーン1杯の洗剤量が異なりますので、お使いの洗剤の容器に記載してある「使用量の目安」を参考にし、水量表示(L)に対して入れ過ぎにご注意ください。入れ過ぎると洗剤が発泡する恐れがあります。(故障したり、水漏れや感電をする恐れがあります)
●衣類を洗濯・脱水槽に入れるときは、洗剤トレイを閉めてください。開いていると、衣類が引っ掛かって破れる恐れがあります。

漂白剤投入　　ソフト仕上剤投入

漂白剤

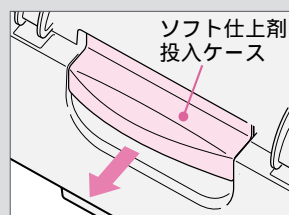
●洗剤を入れたあとに
水でうすめた液体漂白剤を入れる

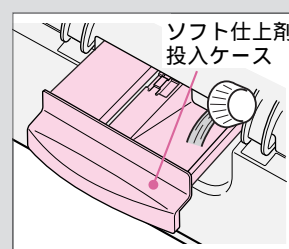
■粉末漂白剤
直接洗濯・脱水槽に入れます。

ご注意
- ●使用量および使いかたについては、漂白剤の表示に従ってください。
- ●液体漂白剤は直接洗濯物にかけないでください。変色、布破れの原因になります。
- ●塩素系の漂白剤を洗濯・脱水槽に入れたまま、長時間放置しないでください。

ソフト仕上剤

●内ふたを閉めたあとに

1 ソフト仕上剤投入ケースを引き出す

2 ソフト仕上剤を入れる

3 ソフト仕上剤投入ケースを閉める

ご注意
- ●ソフト仕上剤投入ケースには洗剤を入れないでください。（故障の原因になります）
- ●ソフト仕上剤を入れたまま長時間（12時間以上）放置しないでください。固まってしまう場合があります。
- ●ソフト仕上剤投入ケースに仕上剤がこびりつくことがあります。ケースを取り外して清掃してください。➔P.59
- ●ソフト仕上剤を入れ過ぎないでください。流れ出して、洗濯物に直接かかり変色する恐れがあります。
- ●運転中はソフト仕上剤投入ケースを引き出さないでください。水が垂れてくる場合があります。
- ●ソフト仕上剤投入ケースは、確実に奥まで閉めてください。(ケースが開いたままふたを無理に閉めようとすると、破損する恐れがあります。)
- ●内ふたや内ふたの周囲の金属部分にソフト仕上剤が付いたときは、湿った布などで拭き取ってください。さびが発生することがあります。
- ●ソフト仕上剤の種類や投入量によっては、泡立ちが生じ、ケースを引き出す際にしずくがたれる場合があります。その場合はすぐに拭き取ってください。

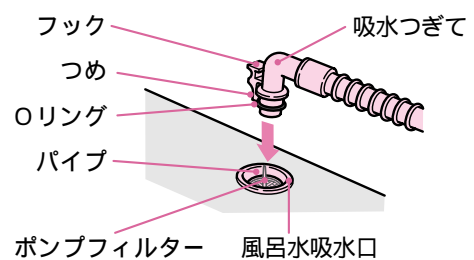
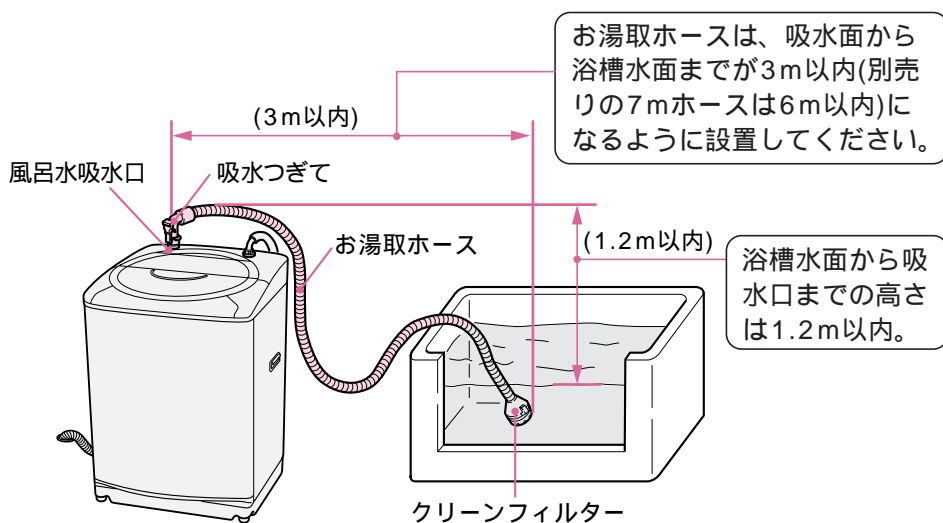
風呂水を使う

お湯取ホースの準備

別冊「据付説明書」に従い、長さを調節したお湯取ホースをご使用ください。

1 風呂水吸水口のキャップを外す

2 お湯取ホースの吸水つぎてを、風呂水吸水口に取り付ける

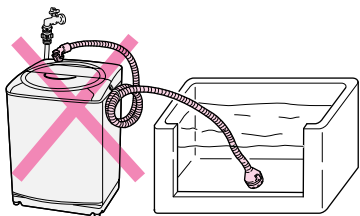
●吸水つぎてのつめをパイプに引っ掛け、抜けないことを確認してください。
●入りにくい場合は、Oリングに少し水をつけ、回しながら押してください。
●Oリングを外したり傷つけないでください。
外すと空気が入り込み、吸水できなくなります。
●風呂水吸水口のポンプフィルターを中に押し込まないように注意してください。

3 ホースの先端を浴槽にセットする

※浴槽までの距離が3m以上あるときは、別売りの7mホースを使用してください。
➔P.75

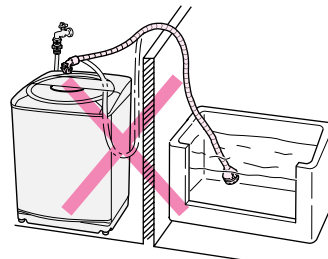
・吸水中は、水の重さによりホースが垂れ下がりますので、調節するときは長めに切断するようにしてください。
・浴槽の水面より風呂水吸水口が低くなる場所では使用できません。
・浴槽の水面から吸水口までの高さが1.2mを超えると、吸水できない場合があります。

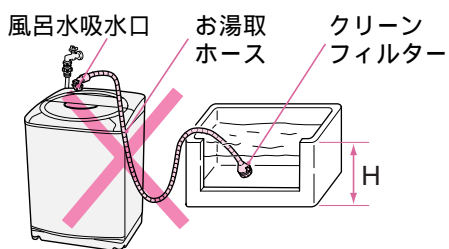
ご注意 **■ホースを傷付けないでください。**
●浴室などのドアではさみ込まないでください。
●無理な力をかけないでください。
●金属部分とのこすれに注意してください。

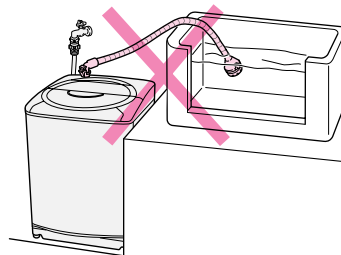
お湯取ホースセット時のご注意

余分なホースを巻いたまま使用しない

●ホースの抵抗が増え、風呂水吸水できない場合があります。

高い壁を越えるときは、ホースのたるみをなくす

●ホースにたるみがあると、ホースの抵抗が増え、風呂水吸水できない場合があります。

クリーンフィルターの浮き上がりに注意する

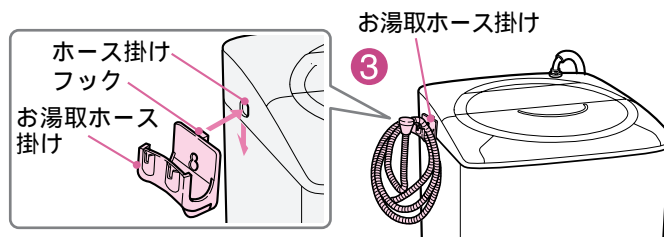
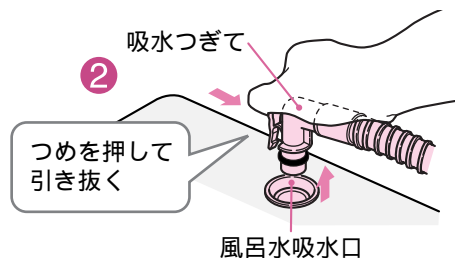
●浴槽の高さ(H)が80cm以上の場合は、垂れ下がったホースでクリーンフィルターが浮き上がりやすくなります。
おもりなどで浮き上がらないようにしてください。

浴槽の水面より風呂水吸水口が低くなる場所では使用しない

●サイホン現象により、ポンプの運転が終わっても水が出っ放しになります。

**●お買い上げになって初めてご使用になるときは、水道水による運転を行ってください。
水道水での運転により、風呂水ポンプ内に呼び水吸水するためです。
(呼び水とは、風呂水ポンプが吸い上げ運転をするために必要な一定量の水です)**

お湯取ホースの片づけ

1. **浴槽からクリーンフィルターを取り出す**
2. **吸水つぎてを、風呂水吸水口から取り外し、ホースの中の水を抜く**
3. **お湯取ホース掛けにかける**
4. **風呂水吸水口のキャップを取り付ける**

ご注意

●吸水つぎてを本体から外さない状態でお湯取ホースを持ち上げると、ホース内の残水が洗濯・脱水槽に逆流して、衣類をぬらす恐れがあります。

風呂水を使う（続き）

お湯取設定のしかた

お湯取 を押し、風呂水を使う行程のランプを点灯させる

押し回数	パネルの表示	洗い	すすぎ1	すすぎ2
1回押す	洗い すすぎ1 すすぎ2	風呂水	水道水	水道水
2回押す	洗い すすぎ1 すすぎ2	風呂水	風呂水	水道水
3回押す	洗い すすぎ1 すすぎ2	風呂水	風呂水	風呂水
4回押す	洗い すすぎ1 すすぎ2	水道水	水道水	水道水

●スタートさせると設定内容は記憶されます。
●注水すすぎの場合、設定水位まで風呂水を吸水後、水道水を注水します。
●水量ボタンによる補給水は水道水になります。→ P.8
●洗い行程がある場合に、風呂水のすすぎ1・すすぎ2のみの設定はできません。
●洗いやすすぎの給水中に一時停止をしてお湯取ボタンを押すと、風呂水を使う行程が変えられます。
（回転シャワーすすぎ設定時は、すすぎの設定変更はできません）
●洗いやすすぎ行程で設定水位に達してから約1分間は、風呂水を使う行程が変えられません。

洗濯の「ドライ」コース、「乾燥」運転、「槽乾燥」コースは、風呂水は使えません。

風呂水吸水時のご注意

**●「洗濯」運転で風呂水を利用した場合、洗濯終了後に乾燥フィルターが湿っていることがあります。
（お湯の影響であり、異常ではありません）**
●「乾燥」運転で入浴剤の入った風呂水を使用した場合、洗濯物に入浴剤の臭いがつくことがあります。

ご注意
●入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従ってください。
色移りや変色を防ぐためです。→ P.13
●発泡タイプ、ゼリータイプ、とろみタイプの入浴剤は風呂水を吸水できない場合がありますので、
使用しないでください。

お湯取設定時のスタート後の給水について

1 水道水を約15秒間給水します。

●風呂水ポンプへ呼び水を給水します。

2 風呂水ポンプが風呂水を吸い上げる。

●風呂水ポンプが運転を始めてから風呂水を吸い上げるのに約1～3分かかります。
(ホース内の空気を抜くためです)
●風呂水吸水中に風呂水ポンプを停止し、水道水を給水する場合があります。(1分ごとに7秒間を2回まで)
(自吸性能を向上させるためです)

風呂水がなくなったり、正しく風呂水吸水しなくなったとき

風呂水ポンプ運転開始10分後に自動的に水道水に切り替わり運転を続けます。
(以降の行程もすべて水道水に切り替ります)

石けん(天然油脂)を使う

石けん(天然油脂)は、洗剤トレイに入れないでください。(溶け残ることがあるため)

バケツなどで溶かすとき

1 バケツなどに、30℃ぐらいのぬるま湯を約5L用意する

2 十分かき回しながら適正量の石けん(天然油脂)を少しずつ入れる

●石けん(天然油脂)が固まったり、粉が残ったりしないよう、十分溶かす。

3 洗濯物を入れ、電源を入れてお好みのコースを選び運転する

4 溶かした石けん液を洗濯・脱水槽に入れる

洗濯・脱水槽で直接溶かすとき

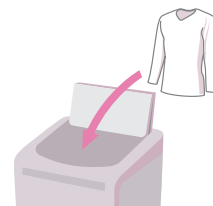
1 電源を入れ、洗濯の「標準」コースを選び、水量、洗いを設定し、スタートボタンを押す

「洗いのみ」の設定のしかた ➔ P.46

水量	洗い
20L	3分

2 給水後、かくはんが始まったら石けん(天然油脂)を入れる

3 石けん(天然油脂)が溶けたら電源を切り、洗濯物を入れる

●洗濯物を十分、洗濯液に浸します。

4 再度電源を入れ、お好みのコースを選びスタートボタンを押す

●水が入っていますので、水量が多めに表示されることがあります。その場合は手動で水量を設定してください。➔ P.45

ご注意

●石けん(天然油脂)は合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎは十分に行ってください。
よくすすがないと黄ばみや、においの原因になったり、乾燥後に変色したりすることがあります。
●使用量が多すぎたり、低温の水に直接入れると、完全に溶けない石けん分がホースや洗濯・脱水槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。
●石けん(天然油脂)を使うとき、合成洗剤を約1割混ぜると、石けんかす（金属石けん）の発生を抑えることができます。
●石けん(天然油脂)は石けんかすが発生しやすいため、1か月に一度を目安に洗濯槽クリーナー ➔ P.75 を使い、「槽洗浄(11時間)」コース ➔ P.57 でのお手入れをしてください。
●合成洗剤のみの場合は、「洗濯・脱水槽で直接溶かすとき」に記載の方法で運転しないでください。
泡による弊害が起こる場合があります。
●液体石けん(天然油脂)は、水で溶かしたまま放置しないでください。固まる恐れがあります。

次の場合は石けん(天然油脂)を使用しないでください。

●予約運転のとき
洗濯・脱水槽内で固まる恐れがあります。
●洗▶乾の「毛布」コース、洗濯の「毛布」「ドライ」コースのとき
つけおき洗いをするため、黄ばみや黒ずみの恐れがあります。

洗濯のりを使う

洗濯のりについて

化学合成のり（酢酸ビニール系、PVAc）と表示されているものに限ります。

●上記以外の洗濯のりは、故障の原因となる恐れがありますので、成分表示をご確認ください。
※PVA(ポリビニルアルコール)は使用しないでください。

洗濯のりの量

洗濯のりに表示されている分量を目安にしてください。

のり付けできる洗濯量

1.2kg以下（洗濯物の重さの目安 ➔ P.17）

準備 **水栓を開ける**

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 を押し、「標準」を選ぶ

3 水量 を押し、「20L」を選ぶ

4 洗い を押し、「3分」を選ぶ

5 スタート一時停止 を押す

スタート一時停止 を押したあと、給水が始まったら一時停止し、直接洗濯・脱水槽に洗濯のりを入れ、再度 スタート一時停止 を押します。

6 洗濯のりが溶けたら電源を切り、のり付けしたい衣類を入れる

7 「洗い」→「脱水」を運転する ➔ P.46

<衣類の量が1.2kgの場合>

水量	洗い	すすぎ	脱水
35L	5分	設定なし	1分

に設定する。

水量は衣類の量に応じて調整してください。

ご注意 ●乾燥フィルターが目詰まりするため、のり付けした衣類は「乾燥」しないでください。故障の原因になります。

のり付けしたあとは

洗濯・脱水槽に残った洗濯のりを洗い流してください。

●念入りに洗い流したい場合は、「槽洗浄」コースをご使用ください。

「標準」コース

1 電源を入れ、洗濯の「標準」コースを選ぶ

2 水量を「54L」に設定する

3 内ふた、ふたを閉め、スタートボタンを押す

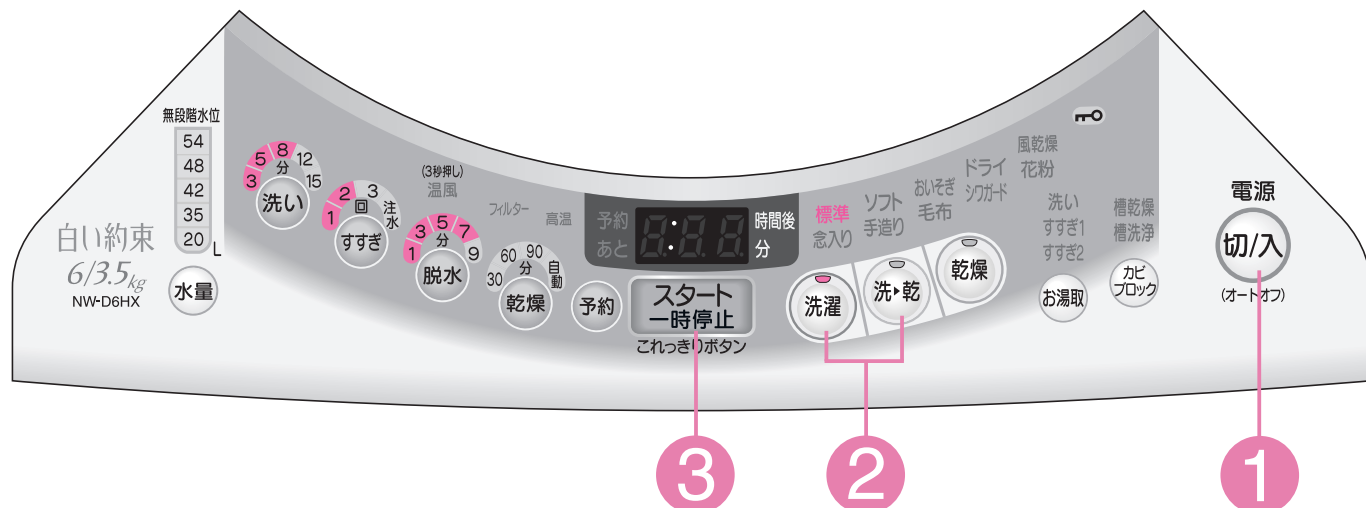
「槽洗浄」コース(念入りに洗浄したい場合)

1 電源を入れ、「槽洗浄」コースを選ぶ

2 運転時間を3時間に設定する
（市販の塩素系漂白剤や洗濯槽クリーナーは使用しないでください。）

3 内ふた、ふたを閉め、スタートボタンを押す

ご注意 ●洗剤、衣類は入れないでください。

洗濯をする／洗濯〜乾燥をする

準備 水栓を開け、洗濯物を入れる

1

切/入 を押し、**電源を入れる**

2

洗濯 **洗▸乾**

運転したいいずれかのボタンを押し、
希望のコースのランプを点灯させる

ボタンを押すと表示文字が点灯します。ご希望のコースを選んでください。

標準 念入り ソフト 手造り おいそぎ 毛布 ドライ シワガード 風乾燥 花粉

3

スタート 一時停止 を押す

メロディが鳴って洗濯物の量を測定し、
約30秒後に水量を表示します。

4

水量表示に従って、
洗剤、漂白剤を入れて内ふたを閉め、ソフト仕上剤を入れてふたを閉める

→ P.22〜25

メロディが鳴ったら終了です。

■お湯取設定したいときは

お湯取 を押し、運転したい行程のランプを点灯させる

→ P.28

■「洗い」「すすぎ」「脱水」「乾燥」の設定を変えたいときは → P.46、50〜53

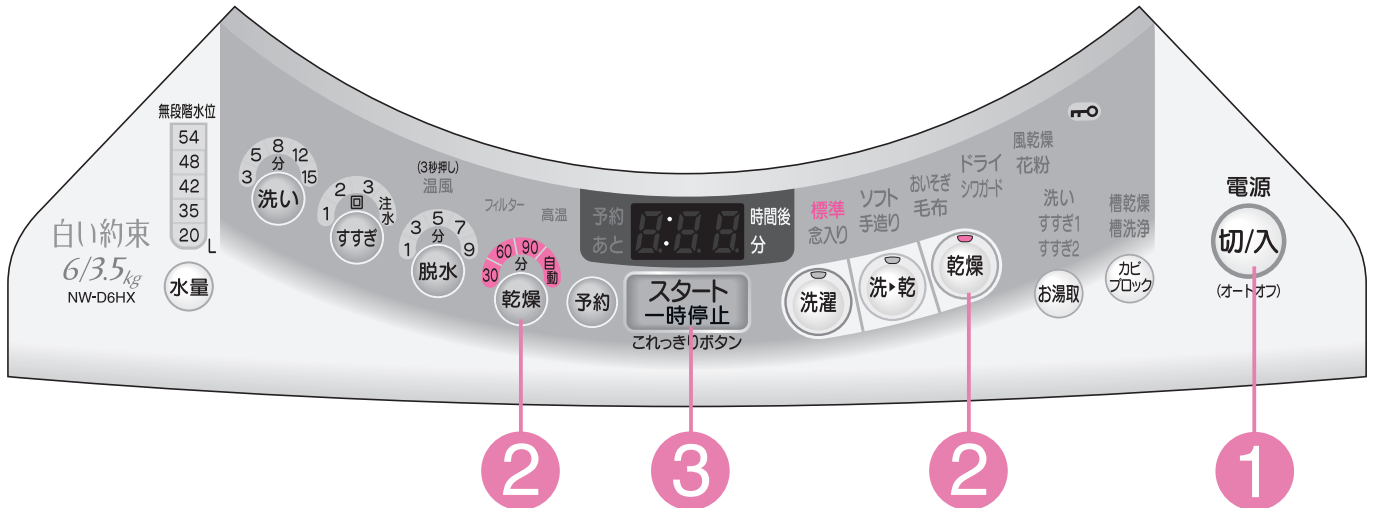
コースの使い分け

こんなときに		おすすめコース	運転できるコースと洗濯・乾燥容量 洗濯	洗▸乾	風呂水吸水 お湯取	おすすめ洗剤
普段の洗濯物に		標　準	6kg	3.5kg	設定できる	粉末合成洗剤または液体合成洗剤
汚れが多いときや厚手の洗濯物に		念入り	6kg	3.5kg	設定できる	粉末合成洗剤または液体合成洗剤
ランジェリーなど傷みが気になる洗濯物に		ソフト	3.5kg		設定できる	液体中性洗剤
自分でコースを造る		手造り ➔P.44	6kg	3.5kg	設定できる	粉末合成洗剤または液体合成洗剤
軽い汚れの衣類を短時間で洗濯・乾燥します。		おいそぎ※1	3kg	1.6kg	設定できる	粉末合成洗剤または液体合成洗剤
毛布などの洗濯・乾燥に		毛布 ➔P.36	4.2kg (掛ふとん:1.8kg)	2.2kg	設定できる	液体合成洗剤
ドライマーク付き衣類を洗濯するときに		ドライ ➔P.40	1.2kg		設定できる	ドライマーク衣類専用洗剤または液体中性洗剤
綿のワイシャツなど、シワになりやすいものの洗濯・乾燥に		シワガード※2		0.8kg	設定できる	粉末合成洗剤または液体合成洗剤

※1：水量は自動的に「48L」になります。お好みに合わせて設定できます。
※2：水量は自動的に「35L」になります。お好みに合わせて設定できます。

残時間表示について

- ●残時間は、1分毎に減っていきます。
  (ただし、乾燥運転中に乾き具合を検知して一気に減る場合がありますが異常ではありません)
- ●残時間は運転途中で補正しながら表示するので、増減する場合があります。
- ●残時間はあくまで目安表示です。
- ●前回運転したときの水道水圧が低かった(給水時間が長かった)場合には、運転開始直後の残時間表示が長くなることがあります。➔P.66
- ●乾燥運転中に「10～20」分点滅状態から減らなかったり、一度に2～9分残時間が減ることがありますが、異常ではありません。➔P.66

乾燥をする

準備 **水栓を開け、洗濯物を入れる**

1

切/入 を押し、**電源を入れる**

2

乾燥 を押し、**希望のコースのランプを点灯させる**

ボタンを押すと表示文字が点灯します。ご希望のコースを選んでください。

標準 念入り　ソフト 手造り　おいそぎ 毛布　ドライ シワガード　風乾燥 花粉

タイマー乾燥(30/60/90分)するときは、「標準」コースを選び、

乾燥 を押し、**希望の時間のランプを点灯させる**

●「標準」コースのみタイマー乾燥することができます。
●「風乾燥」コースは「60分」または「90分」のみ選択できます。

表示	設定内容
30 60 分 90 自動	乾き上がるまで自動運転します。
30 60 分 90 自動	30分間乾燥運転します。（温風運転で衣類をほぐし、干しやすくします。）
30 60 分 90 自動	60分間乾燥運転します。
30 60 分 90 自動	90分間乾燥運転します。

3

内ふた、ふたを閉めて、

スタート 一時停止 **を押す**

メロディが鳴ったら終了です。

ご注意

漂白剤などを使用したとき

洗濯時、漂白剤や次亜塩素酸ナトリウムなどの薬剤をご使用になったときは、十分(においが残らない程度)にすすいでから乾燥してください。

●洗濯物に漂白剤などが残っているまま乾燥すると、本体の寿命を縮めたり、衣類を傷めます。

コースの使い分け

こんなときに	おすすめコース	乾燥容量
普段の乾燥に	標　準	3.5kg
厚手の乾燥に	念入り	3.5kg
ドライマークや平干し表示のセーター乾燥に	ドライ	0.4kg
綿のワイシャツなどの乾燥に	シワガード	0.8kg
熱に弱い衣類の乾燥に(定時間運転)	風乾燥	1kg
花粉をとりたいときに	花粉	2kg

衣類の縮みについて

衣類は水につけたり、洗濯して乾かすだけで縮むものがありますが、乾燥を行うとさらに縮みが大きくなるものもあります。（縮みの程度は1回目の洗濯・乾燥でほぼ決まります）

縮みやすいもの		縮みにくいもの	
サマーセーター	運動用くつ下	ワイシャツ	ブラウス
綿や麻のニット製品など	ポリウレタン混紡の製品など	綿、混紡などの織物	ポリエステル製品など

●縮みの程度は生地の種類や織りかた、縫製、仕上げなどによっても異なります。
●縮みやすい衣類の例
・ウールや綿のセーターでリブ編みのもの

縮みについての対応

●乾燥前に衣類の取扱絵表示・材質表示をよく確認します。
●天日乾燥を上手に併用します。
(例えば、天日乾燥したものの仕上げに乾燥を行うなど)
●縮みやすいものについては、できればあらかじめひと回り大きめの衣類のご購入をお勧めします。

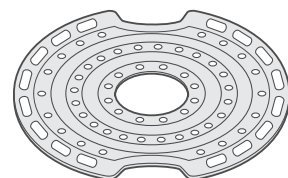
毛布の洗濯をする／洗濯～乾燥をする

洗濯物の準備

■洗濯・乾燥する量や種類により、洗濯・脱水槽への入れかたなどが異なります。
お洗濯キャップは下表に従い、正しくご使用ください。

■2.2kg～4.2kgの毛布を洗濯するときは、別売りの「お洗濯キャップ(MO-F63)」が必要です。➔ P.75

●お洗濯キャップを使用せずに洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損する恐れがあります。

※お洗濯キャップの取り付け・取り外しかたについて ➔ P.39

	毛布	掛ふとん	お洗濯キャップ
「洗濯」運転	2.2kg未満	ー	お洗濯キャップを使用しなくても運転できます。
	2.2kg～4.2kg	1.8kg以下	お洗濯キャップを使用して運転してください。
「洗▶乾」運転	2.2kg以下	ー	お洗濯キャップは使用しないで運転してください。

「洗濯」運転の場合

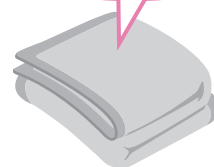
洗濯できるもの

■洗濯できる毛布

●手洗イ と表示されている毛布。

●アクリル、またはポリエステルのマイヤー毛布、タフト毛布、織毛布（幅180cm×長さ230cm以下、1枚の重さが4.2kg以下）

●電気毛布については、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。
(「洗▶乾」運転はしないでください)

4.2kg以下

■洗濯できる掛ふとん

●中わた材質が化せん（ポリエステル）のふとん
掛ふとん　(シングルサイズ　幅150cm×長さ210cm以下、中わた質量1.8kg以下のもの)
肌掛ふとん(ダブルサイズ　　幅190cm×長さ210cm以下、中わた質量1.8kg以下のもの)

●中わた材質が羽毛の掛ふとんで □ 、手洗イ 表示のあるもの
(例：肌掛ふとん　中わた質量0.5kgなど)

1.8kg以下

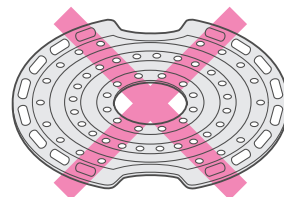
ご注意 ●中わた材質が羊毛のものや、カバー材質が絹のものは洗わないでください。

■その他洗濯できるもの

●手洗イ 表示のベッドパット、カーテン

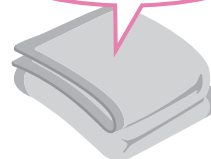
●手洗イ 表示のまくら、クッション（中わたが化せん(ポリエステル)のもの）

「洗▶乾」運転の場合

■お洗濯キャップは使用しないでください。
乾燥の熱でお洗濯キャップが溶けてしまいます。

洗濯〜乾燥できるもの

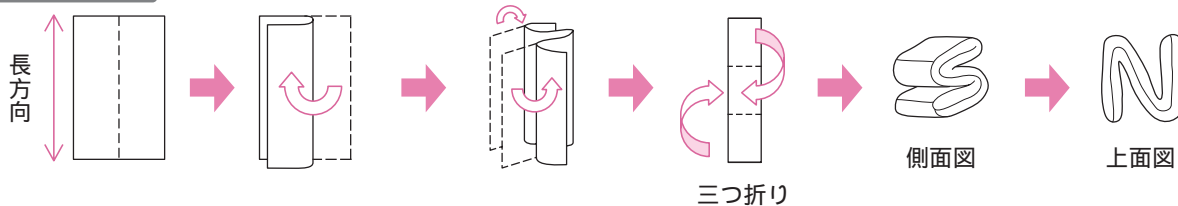
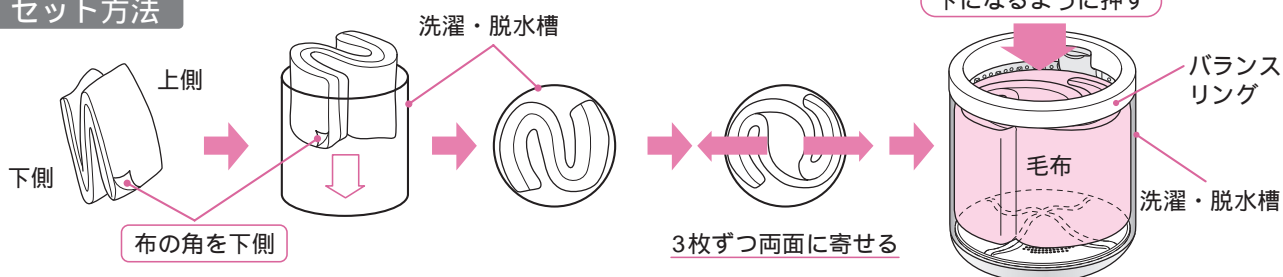
■洗濯〜乾燥できる毛布

- 手洗イ と表示されている毛布。
- アクリル、またはポリエステルのマイヤー毛布、タフト毛布、織毛布（幅180cm×長さ230cm以下、1枚の重さが2.2kg未満）

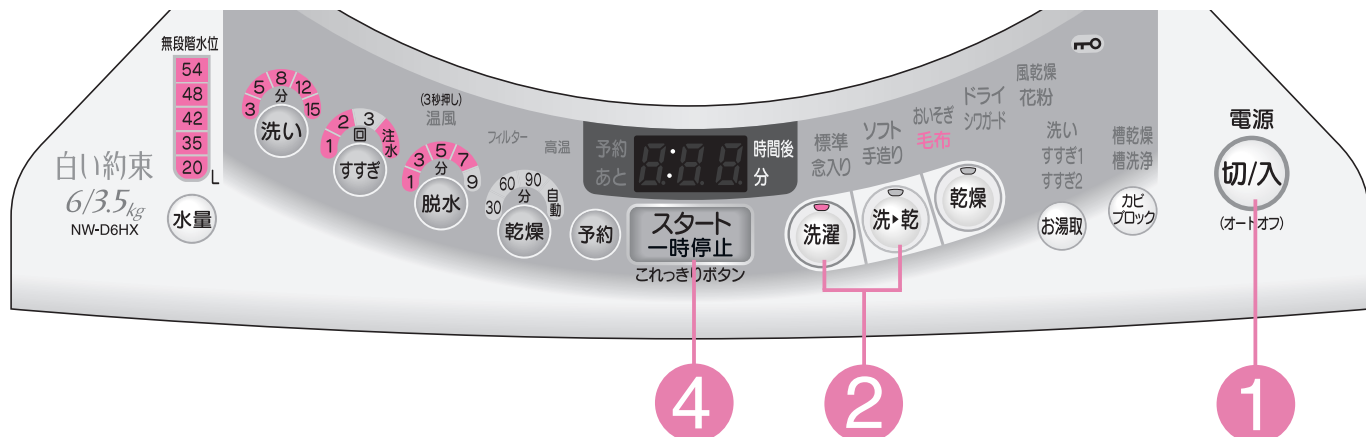
■掛ふとん、まくら、電気毛布は洗濯〜乾燥できません

お洗濯キャップを使用するときの入れかた（掛ふとんと2.8kg〜4.2kgの「洗濯」運転）

1. **毛布、掛ふとんの角から、洗濯・脱水槽に少しずつ入れます。**

2. **掛ふとんは中わたの空気を追い出すように、少しずつ入れます。**

お洗濯キャップを使用しないときの入れかた（2.2kg未満の「洗濯」運転と「洗乾」運転）

ご注意 ●毛布の角を下側にしないと、運転中に毛布を傷める恐れがあります。

毛布の洗濯をする／洗濯〜乾燥をする

【コースの設定〜運転】

準備 **水栓を開け、洗濯物を入れ、「洗濯」運転(2.2kg以上)の場合は、お洗濯キャップをセットする**

「洗▶乾」運転の場合は、お洗濯キャップを使用しないでください。

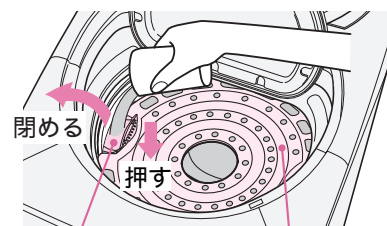
1 を押し、**電源を入れる**

2 洗濯 洗▶乾 運転したいいずれかのボタンを押し、**「毛布」のランプを点灯させる**

■お湯取設定したいときは → P.28

 を押し、運転したい行程のランプを点灯させる

3 **液体洗剤、ソフト仕上剤を入れて、内ふた、ふたを閉める** → P.22〜25
（液体洗剤は洗剤トレイに入れてください）

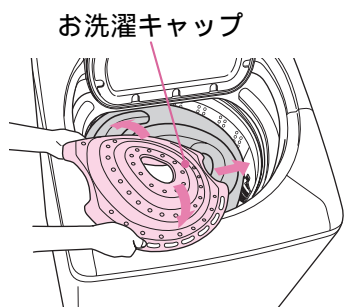
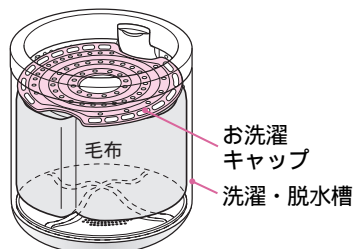
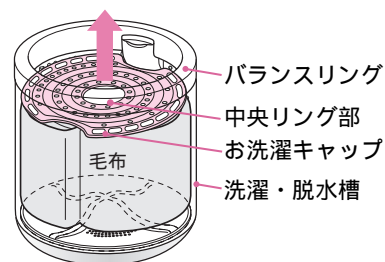
■洗剤の入れかた
お洗濯キャップを下側に押しながら洗剤トレイを開けて、液体洗剤を入れる（羽毛などは液体中性洗剤）

4 スタート 一時停止 **を押す**

水量は自動的に「54L」になります。
お好みに合わせて設定できます。

メロディが鳴ったら終了です。
洗濯が終わったら、お洗濯キャップを外してください。

お願い ●運転終了後、乾きムラがあるようなときは、毛布を折り返し、乾燥の「ドライ」コースで再度乾燥させてください。

お洗濯キャップの取り付けかた

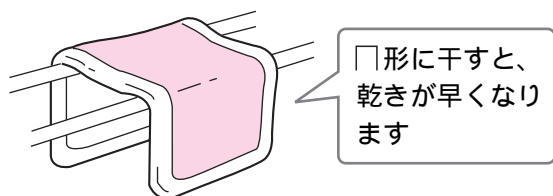
1 **お洗濯キャップを曲げ、凹部と洗濯・脱水槽の凸部(プラスチック)を合わせる**

2 **図のように、お洗濯キャップ全体を洗濯・脱水槽の中に入れる**

3 **中央リング部を持って、バランスリングのすぐ下まで引き上げる**

お洗濯キャップの取り外しかた

1 **お洗濯キャップの手前側を押し下げる**

2 **中央リング部を図のように持ち、矢印の方向に曲げる**

3 **そのまま手前に引くように、持ち上げる**

干しかた

●**風通しのよいところで自然乾燥させます。**
(掛ふとんの場合は、晴天の日で約4時間かかります)

●掛ふとんは時々裏返すと乾燥がより効果的です。
また、時々中わたをつまんでほぐすと、ふっくら仕上がります。

●羽毛の掛ふとんは、中わたの片寄りをほぐしてから干すとふっくら仕上がります。
(羽毛の変質と側地の傷みを防ぐため、シーツなどを上に掛けて干してください)

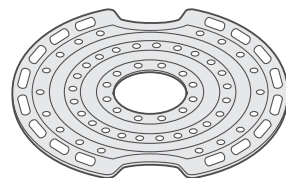
●毛布は湿っているうちに、ブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。

ドライマーク付き衣類の洗濯をする／乾燥をする

洗濯物の準備

■洗濯・乾燥する量により、洗濯・脱水槽への入れかたなどが異なります。
お洗濯キャップは下表に従い、正しくご使用ください。

■0.4kg～1.2kgの衣類を洗濯するときは、別売りの「お洗濯キャップ(MO-F63)」が必要です。 ➔ P.75

●お洗濯キャップを使用せずに洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損する恐れがあります。
※お洗濯キャップの取り付け・取り外しかたについて ➔ P.43

	洗濯量	お洗濯キャップ
「洗濯」運転	0.4kg未満	お洗濯キャップを使用しなくても運転できます。
	0.4kg～1.2kg	お洗濯キャップを使用して運転してください。
「乾燥」運転	0.4kg以下	お洗濯キャップは使用しないで運転してください。

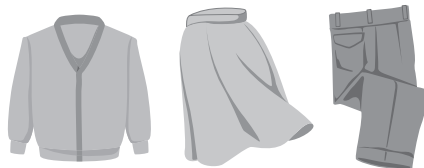
「洗濯」運転

洗濯できるもの

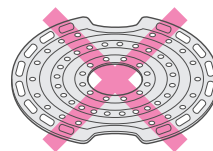
衣類の取扱絵表示	手洗イ 表示があるもの
	ドライ 表示があるもの

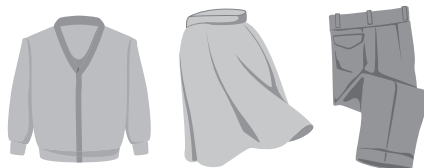
1.2kg以下

●セーター、カーディガン(ウール、アンゴラ、カシミヤなど)
●スラックス、スカート
●ブラウス、シャツ、ワンピース(絹、麻など)
●学生服、セーラー服

※ ドライ 表示があっても、洗えないものがあります。 ➔ P.16

ご注意 ●左記以外の衣類については、衣類の取扱絵表示や洗剤の表示に従ってください。

「乾燥」運転

■お洗濯キャップは使用しないでください。
乾燥の熱でお洗濯キャップが溶けてしまいます。

乾燥できるもの

●ウール、アンゴラ、カシミヤなどのセーター、カーディガン
●ウール、ウール混紡のスカートやスラックス
●麻、ポリエステルなどのブラウス、シャツ、スカート
※ドライマーク付衣類でも上記のものは乾燥できます。
・乾燥できる衣類の量は1枚です。
・0.4kg以上の大物は乾燥しないでください。

0.4kg以下

ご注意 ●取扱絵表示および素材表示のないものは、クリーニングに出すことをおすすめします。

■「ドライ」コースはかくはん翼を回転させずに、洗濯・脱水槽を回す槽回転水流で、手洗イ表示のデリケートな衣類や、ドライ表示の衣類をやさしく洗い上げるコースです。衣類に力をかけない洗いかたをしますので、前もって下記の前処理をしてください。

衣類の前処理

●しみやひどい汚れは早めに処理してください。
時間がたつと落ちにくくなりますので、お洗濯前に部分洗いなどで処理をしておくとより効果的です。
●ボタンやししゅうがついている衣類は裏返にします。
●ボタンやファスナーは閉めてください。

色落ちの確認

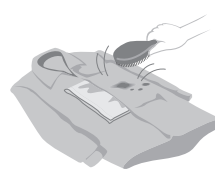
●色落ちしそうな衣類は、あらかじめ、色落ちの確認をしてください。白いタオルなどに洗剤液を含ませ、衣類の目立たない部分に強く押し当ててタオルに色移りしないか確認してください。
色落ちがあった場合は、お洗濯しないでください。
●色落ちしやすい衣類(スカーフ、外国製の衣類など)は、十分に注意してください。

脂汚れ、しみなどを落ちやすくする

えり、そで口などの脂汚れ

●えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液をつけて、ブラシで一定方向にこすってください。

しみ

●裏にタオルを当て、洗剤の原液をつけてブラシなどで軽くたたいて落します。

洗濯後、縮みが大きくなった場合のことを考えて、元の形に修正するために型紙を取っておくと便利です。

しみの抜きかたワンポイント

●万一、衣類にしみがついた場合は、3倍濃度の洗剤液につけ置きしてください。
※上記対応でしみが抜けないときは、下記のように市販の漂白剤をご使用ください。
●漂白剤は、酸化型と還元型とに分けられ、さらに酸化型は塩素系と酸素系に分けられます。各々、下記のような特徴があり、使えるものと使えないものがありますので、ご使用前に漂白剤の容器に表示してある注意書きをよくご覧になり、正しくご使用ください。

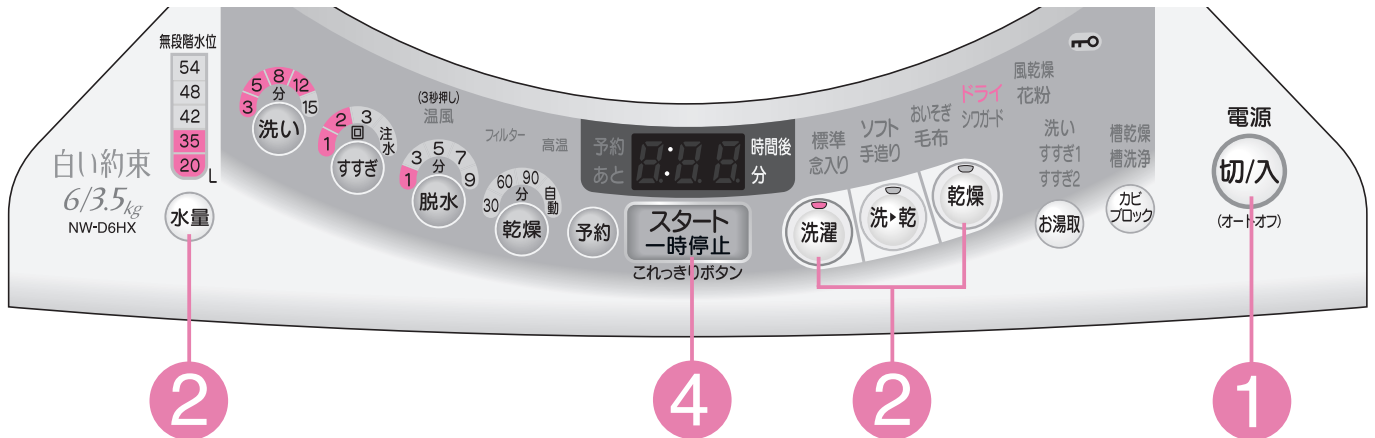
・酸化型
(1)塩素系(ハイター)：
漂白力、殺菌力はもっとも強いのですが、色物や毛・絹には使えません。
(2)酸素系(ワイドハイター、カラーブライト)：
色・柄物に使えますが、粉末の場合は毛・絹には使えません。

・還元型(ハイドロハイター)
水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、塩素系漂白剤のためにワイシャツのえりの芯地が黄変したときに使います。色・柄物には使えません。

使用する洗剤について

■使用する洗剤について

●衣類の取扱絵表示がドライ表示のものは、ドライマーク衣類専用の洗剤(液体)を使用してください。
手洗イ表示のあるものは、中性洗剤(液体)も使用できます。
●使用量は洗剤の表示に従ってください。
●液体洗剤以外は使わないでください。

ドライマーク付き衣類の洗濯をする／乾燥をする
【コースの設定～運転】

準備 **水栓を開け、洗濯物を入れ、「洗濯」運転(0.4kg以上)の場合は、お洗濯キャップをセットする**

「乾燥」運転の場合は、お洗濯キャップを使用しないでください。

1

切/入 を押し、**電源を入れる**

2

洗濯 **乾燥** 運転したいいずれかのボタンを押し、**「ドライ」のランプを点灯させる**

▼

水量 を押し、**水量を設定する**

(選べる水量は35Lと20Lです)

3

液体洗剤、ソフト仕上剤を入れて、内ふた、ふたを閉める ➔ P.22～25

(液体洗剤は洗剤トレイに入れてください)

■洗濯時の洗剤の入れかた

洗剤トレイを開けて、液体洗剤を入れる

液体洗剤を入れる

4

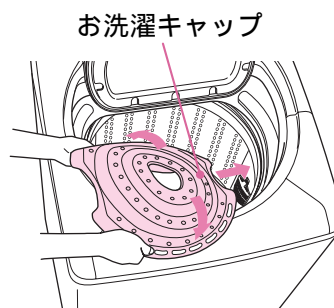
スタート 一時停止 **を押す**

メロディが鳴ったら終了です。
洗濯が終わったら、お洗濯キャップを外してください。

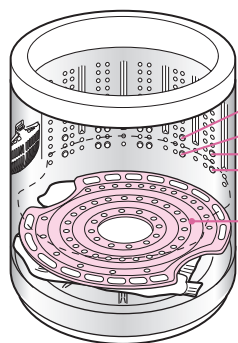
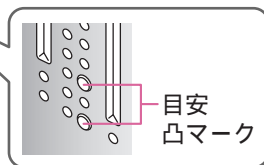
お願い **●お湯や風呂の残り湯は使用しないでください。**
衣類の縮みが大きくなったり、入浴剤の色が移る恐れがありますので、水道水を使用してください。

お洗濯キャップの取り付けかた、取り外しかた

取り付けかた

お洗濯キャップの凹部と洗濯・脱水槽の凸部(プラスチック)を合わせて、2つ折りにして洗濯・脱水槽に入れる。

取り外しかた

取り付けたときと同じように、洗濯・脱水槽の中で2つ折りにして引き出す。

洗える目安

使用する水位	洗える量
35L	1.2kgまで
20L	0.5kgまで

ご注意

●洗濯物はきちんとたたんでから、洗濯・脱水槽に均一に入れて、お洗濯キャップでおさえてください。

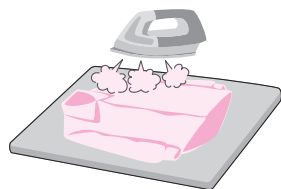
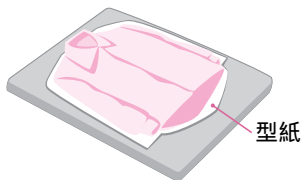
干しかた

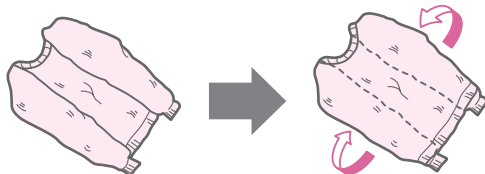
●ウール、アンゴラ、カシミヤなどのセーターは、形を整えて日陰で平干しにします。

●風呂のふたなどを使って平干しにすると形くずれが防げます。

●ブラウスやワンピースは形を整えて日陰でハンガーに干します。

仕上げ(縮み、形くずれの直しかた)

●スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。

●スチームをたっぷりあてたあと、型紙に合わせて元の形までのばし、形を整えます。

乾きが足りないとき

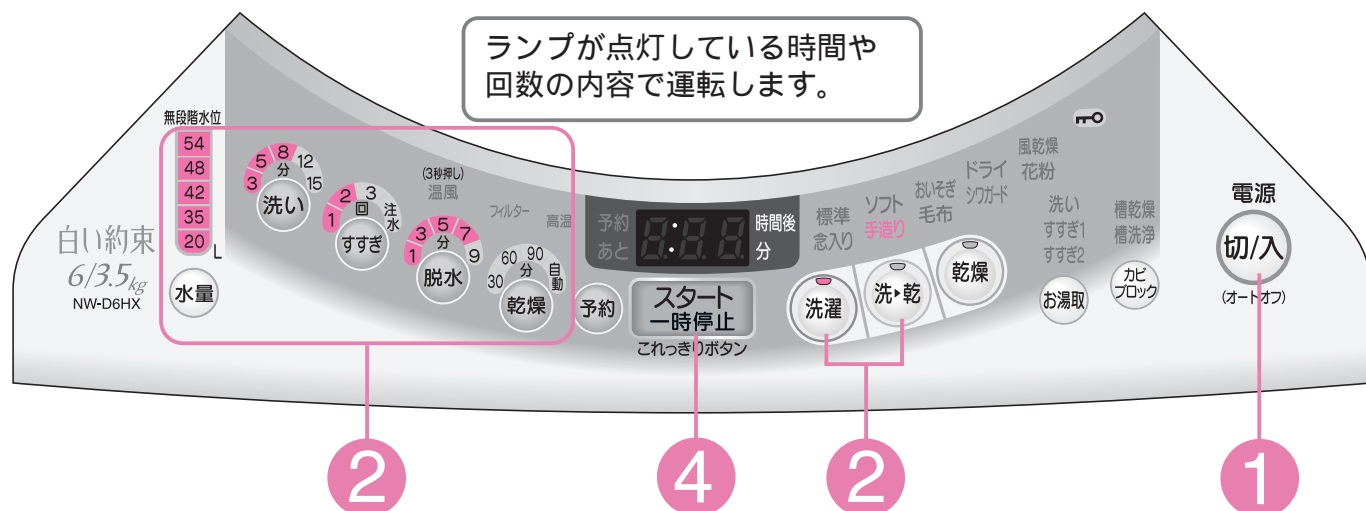
●そでの部分を最初と反対側にたたんでもう一度乾かしてください。

●スカートやスラックスなども反対側にたたんでもう一度乾かしてください。

自分でコースを造る

準備 **水栓を開け、洗濯物を入れる**

1

切/入 を押し、**電源を入れる**

2

洗濯　洗・乾

運転したいいずれかのボタンを押し、
「手造り」のランプを点灯させる

▼

54 48 42 35 20 水量　洗い　すすぎ　脱水　乾燥

(「洗濯」運転の場合)

を押し、
運転内容を設定する

■お湯取設定したいときは

→ P.28

お湯取 を押し、運転したい行程のランプを点灯させる

3

スタート 一時停止 **を押す**

4

水量表示を目安に、
洗剤、漂白剤を入れて内ふたを閉め、ソフト仕上剤を入れてふたを閉める

→ P.22～25

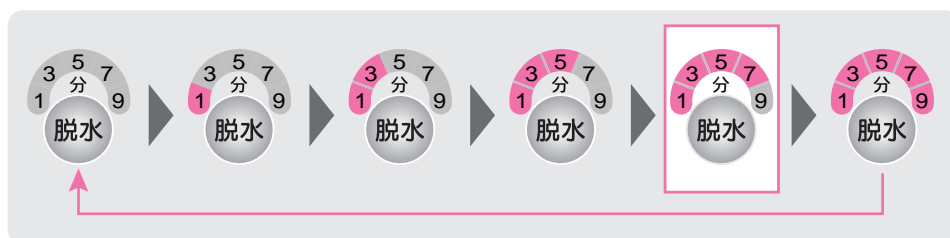
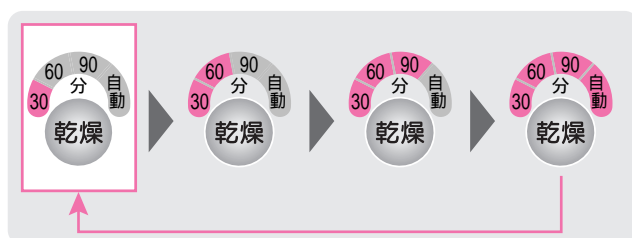
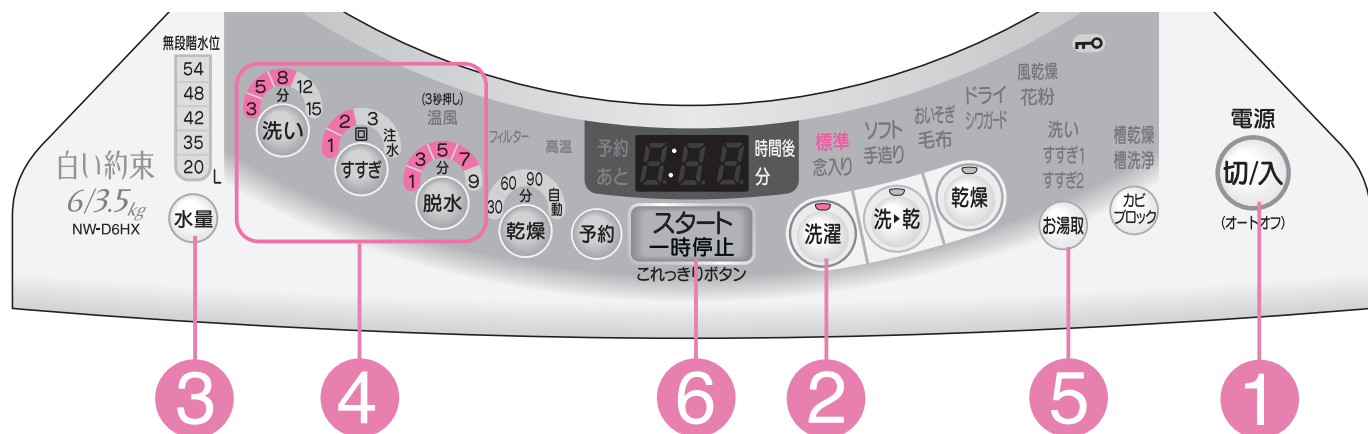
メロディが鳴ったら終了です。

コースの使い分け

●「手造り」コースの内容は記憶されます。(ほかのコースで設定した内容は記憶されません)
●繰り返し使うコースは「手造り」コースを使うと便利です。

内容の変えかた

■各ボタンを押すごとに設定が変わります。

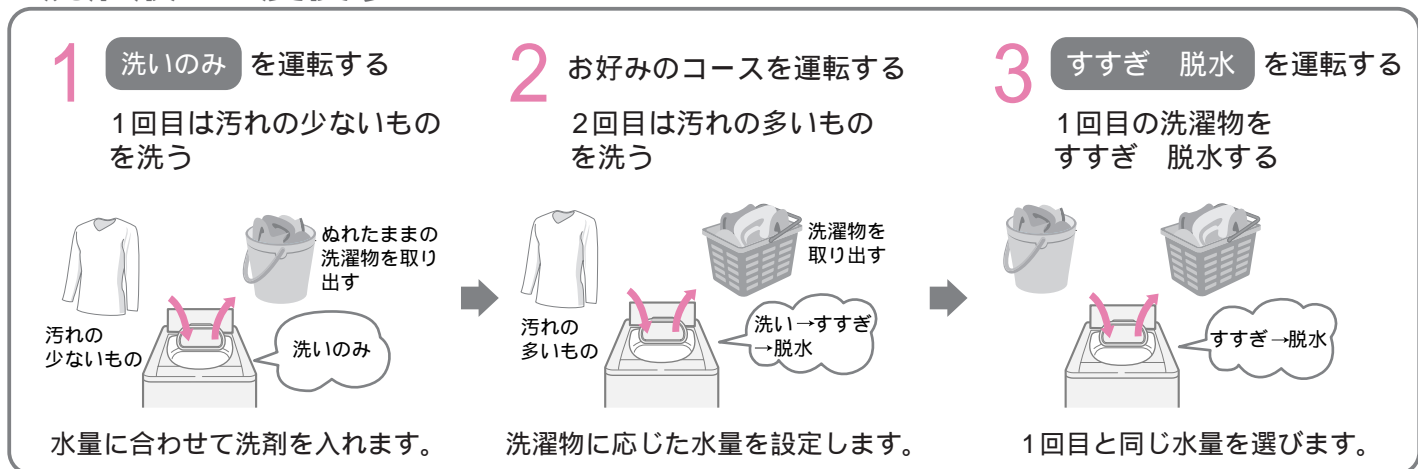
■すすぎについて
●注水すすぎ：水をため、給水しながらすすぎます。
●ためすすぎ：水をためてすすぎます。
●すすぎ3回は、洗濯の「念入り」→P.56、「手造り」コースでしか設定できません。

標準コースで部分運転をする

■洗い・すすぎ・脱水を設定したり、それぞれを組み合わせて運転することができます。
(設定内容は記憶されません)

■「標準」コース以外で部分運転をする場合は、運転しない行程のボタンを押し、表示を消すと部分運転ができます。(できないコースもあります)

■「脱水のみ」を設定したとき、残時間が脱水時間よりも長く表示されます。
(排水時間や脱水するための衣類のバランスを取る時間が含まれるためです)

こんな場合に				
お好みの内容でお洗濯するとき **洗い→すすぎ→脱水**	電源 切/入 **電源ボタン「入」を押す**	洗濯 **洗濯コースボタンで「標準」を選ぶ**	水量 **水量を選ぶ** ※水量の設定がないときは、自動的に決まります。	洗い ボタンを押す
洗濯物を分けて洗いたいとき 水をためたいとき **洗いのみ**				洗い ボタンを押す
シワが気になる洗濯物を脱水しないとき **洗い→すすぎ**				洗い ボタンを押す
のり付けするとき **洗い→脱水**				洗い ボタンを押す
洗った洗濯物をすすぎたいとき **すすぎのみ**				排水・脱水動作をしてからすすぎの給水を始めます。
洗った洗濯物をすすいで脱水したいとき **すすぎ→脱水**				
洗濯・脱水槽の水を排水したいときや、干す前に脱水したいとき **排水のみ、脱水のみ**				排水のみは脱水ボタンで「1分」を選び、脱水が始まったら電源ボタン「切」を押してください。

洗濯液を2度使うとき

各ボタンでコース内容を設定する	5	6	終了 メロディ（ブザー）でお知らせします
すすぎ ボタンを押す → 脱水 ボタンを押す	→	→	洗濯〜脱水を設定した内容で運転します。
→	→	→	洗濯液は残ったまま停止します。
すすぎ ボタンを押す →	→	→	すすぎ液は残ったまま停止します。
→ 脱水 ボタンを押す	→	→	すすぎをせずに洗いと脱水をします。
すすぎ ボタンを押す →	→	→	すすぎの前に排水、脱水し、すすぎ液は残ったまま停止します。
すすぎ ボタンを押す → 脱水 ボタンを押す	→	→	すすぎの前に排水、脱水をします。
脱水 ボタンを押す	→	→	排水して、脱水します。

5

お湯取

風呂水を使う行程を設定する

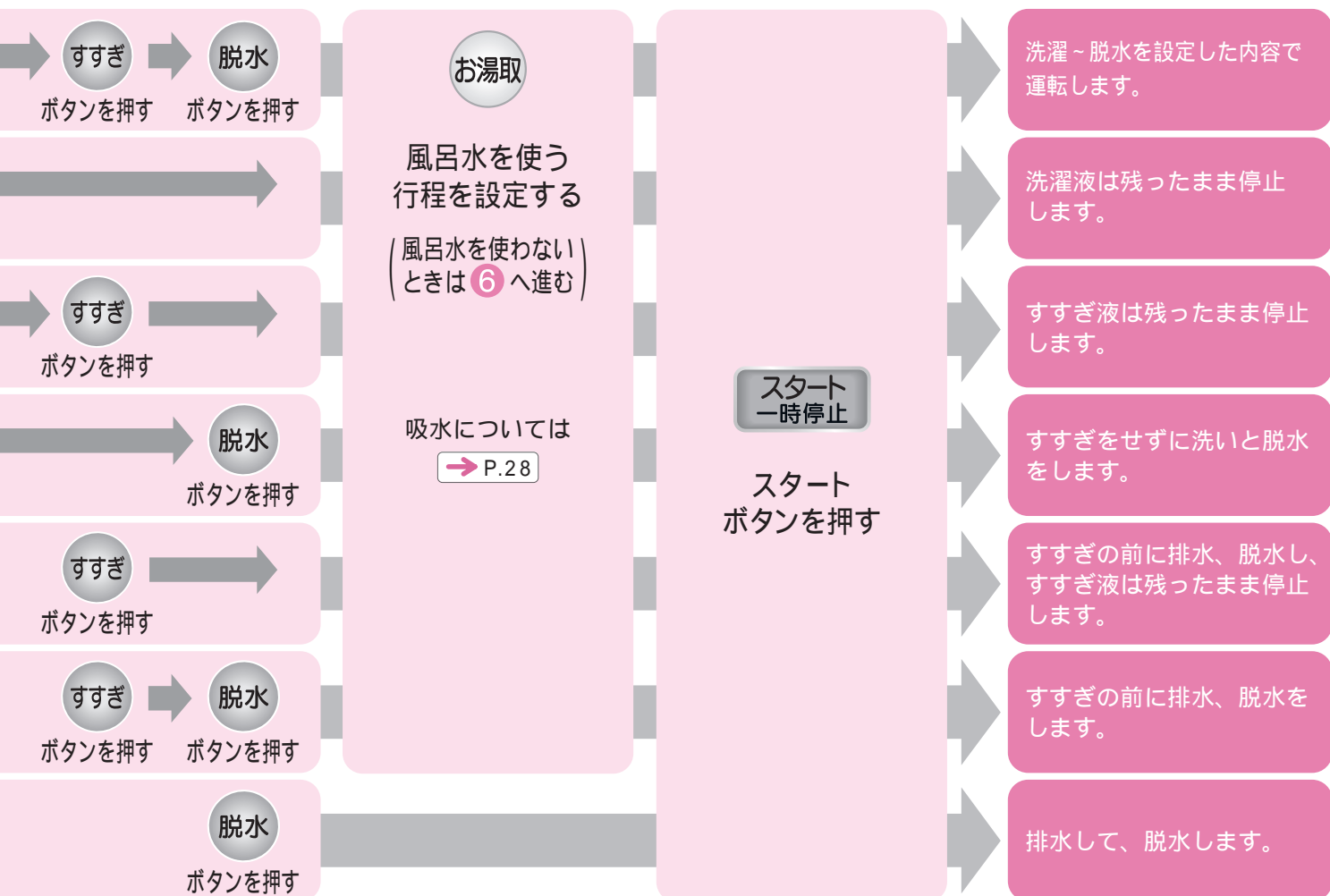
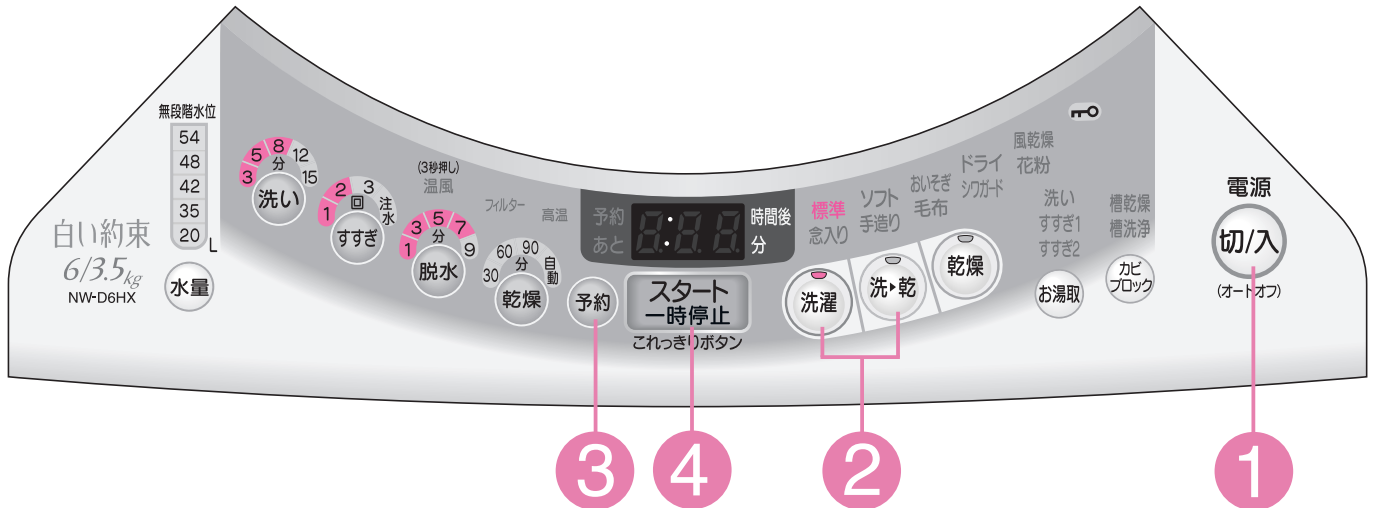
（風呂水を使わないときは 6 へ進む）

吸水については

→ P.28

6

スタート 一時停止

スタートボタンを押す

予約運転をする

準備 **水栓を開け、洗濯物を入れる**

仕上がり時間を3～12時間後の各1時間ごとに予約できます。出かけている間に洗いたいときや、夜間に洗って朝干したいときなどに便利です。

1

切/入 を押し、**電源を入れる**

2

洗濯 洗‣乾

運転したいいずれかのボタンを押し、
希望のコースのランプを点灯させる

■お湯取設定したいときは ➔ P.28

お湯取 **を押し、運転したい行程のランプを点灯させる**

3

予約 を押し、**運転終了時間を設定する**

4

スタート一時停止 **を押す**

メロディが鳴って洗濯物の量を測定し、
約30秒後に水量を表示します。

5

水量表示に従って、
洗剤を入れて内ふたを閉め、ソフト仕上剤を入れてふたを閉める ➔ P.22～25

洗濯内容を表示したあと、約8秒後に「予約」表示以外は消灯します。

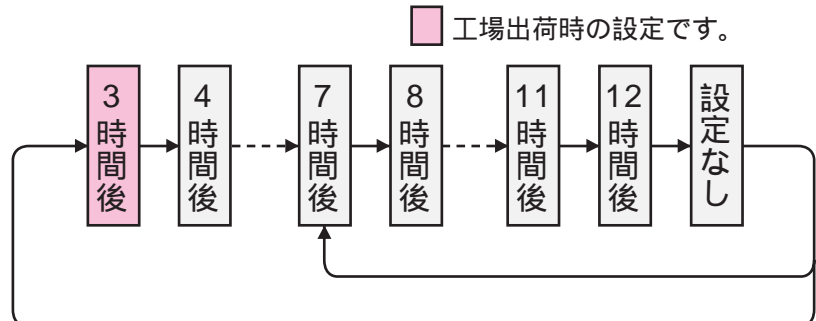
予約ボタンの使いかた(切り替え内容)

■ボタンを押すごとに設定が変わります。

工場出荷時の設定です。

3時間後 → 4時間後 ‐‐‐→ 7時間後 → 8時間後 ‐‐‐→ 11時間後 → 12時間後 → 設定なし

●温度センサー制御が設定されているときは、表示部にドットが点灯します。→P.54

(11時間後の表示例)

3～12時間後で設定可能	「洗濯」運転、洗▶乾の「シワガード」「手造り」(30分乾燥、60分乾燥、90分乾燥)コースの場合
7～12時間後で設定可能	「洗▶乾」運転〔「シワガード」「手造り」(30分乾燥、60分乾燥、90分乾燥)コース以外〕の場合

■洗濯の「毛布」「ドライ」コースおよびカビブロック(「槽乾燥」「槽洗浄」コース)、「乾燥」運転では予約できません。

こんなときには

●予約内容の確認：予約 を押す。(押している間、予約内容を表示)

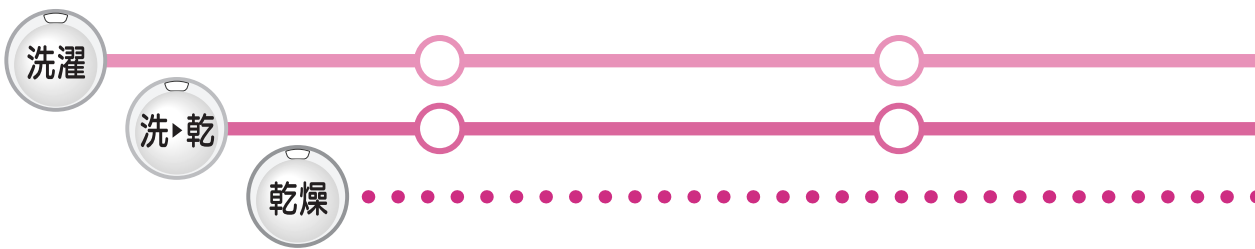
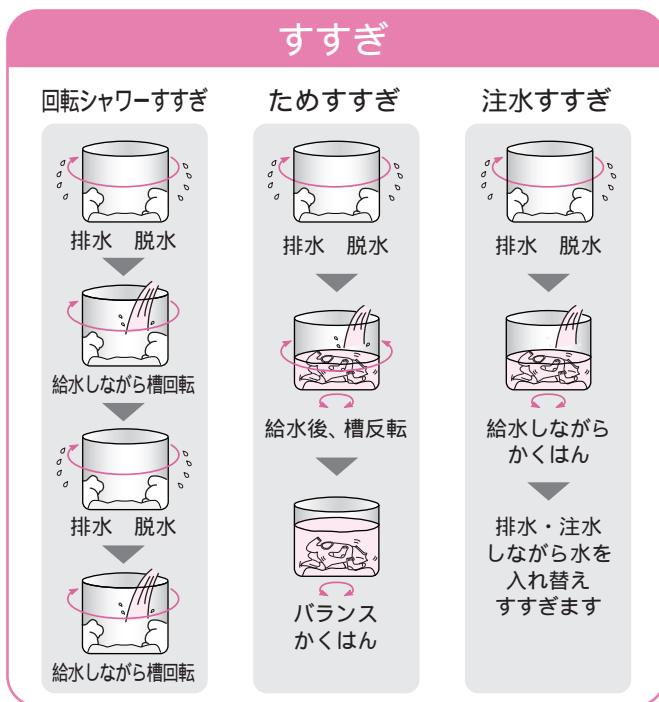
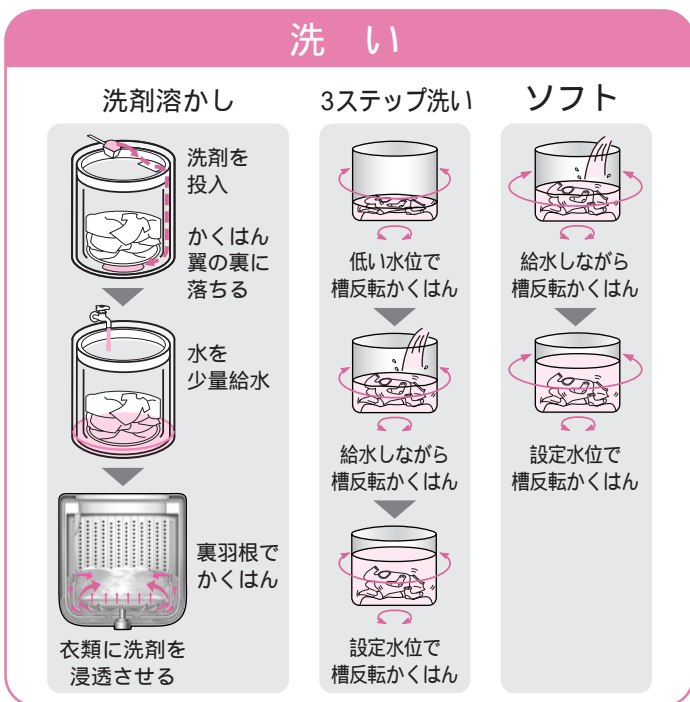
●予約の取り消し：切/入 を押し、電源を切る。

●予約の変更　　：切/入 を押し、電源を切り、初めからやり直す。

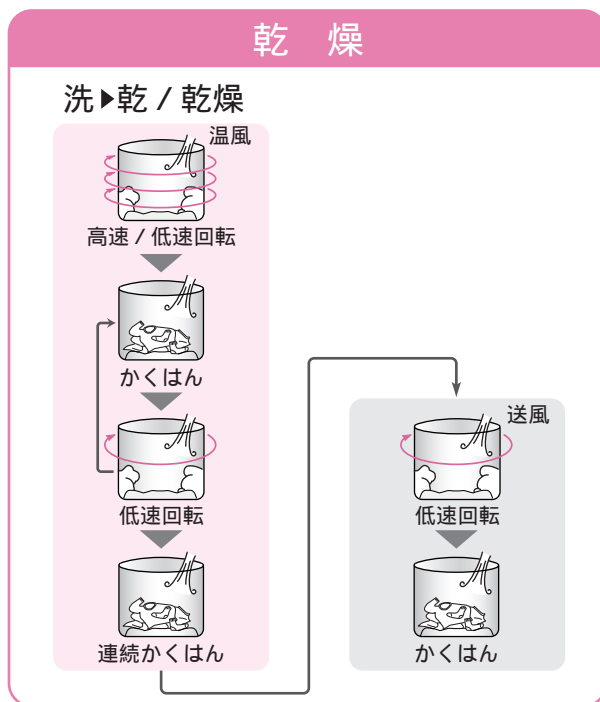
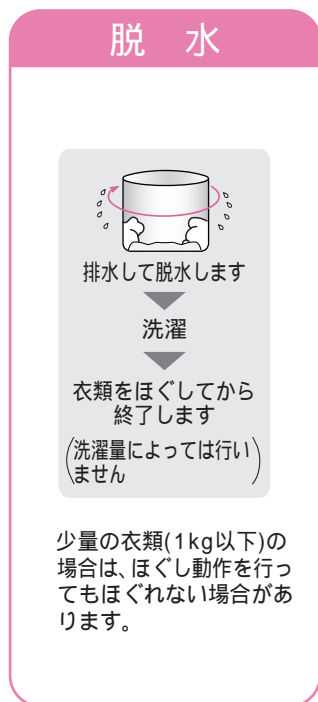
●衣類の追加　　：電源を切らずに、衣類を追加してください。

ご注意

●**予約運転のとき、色移りしやすい衣類は一緒に洗濯しないでください。**
●電源プラグを抜いたり、停電したときは、予約運転は取り消されます。
●洗濯物の量や質、給水量により仕上がり時間がずれることがあります。
●衣類のシワ防止のため、洗濯が終わったらできるだけ早く干してください。
● スタート一時停止 を押して予約すると、運転が始まるまで一時停止はできません。

全自動コースの運転内容と、変更できる内容

コース	水量	洗い	すすぎ 1回目	すすぎ 2回目
標 準	20～54L	8分	回転シャワーすすぎ2回※1	ためすすぎ
	20～54L	3～15分	ため、注水すすぎ1～2回	
念入り	20～54L	8～12分	回転シャワーすすぎ2回※1	ためすすぎ
	20～54L	3～15分	ため、注水すすぎ1～3回※2	
ソフト	20～54L	8分	回転シャワーすすぎ2回※1	ためすすぎ
	20～54L	3～15分	ため、注水すすぎ1～2回	
手造り	54L	8分	ためすすぎ	ためすすぎ
	20～54L	3～15分	ため、注水すすぎ1～3回※2	

【所要時間の目安について】

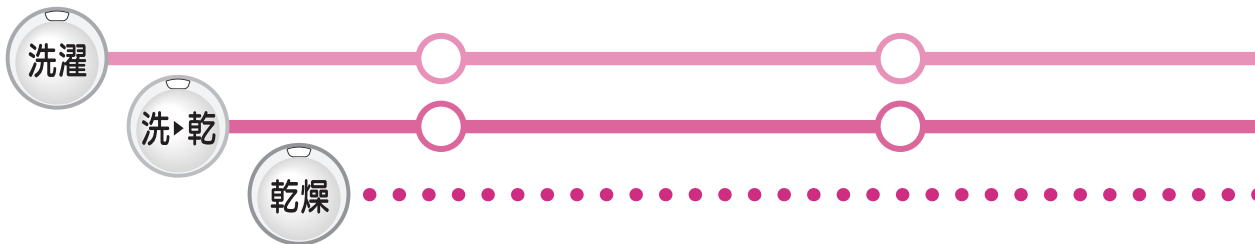
- ●所要時間の目安時間は、室温20℃、水温20℃で運転した場合です。
- ●残時間は目安であり、実際の時間とは異なる場合があります。
- ●所要時間の目安は給水時間(給水量毎分15L)、排水時間を含みます。
  (本体の残時間表示と上表の所要時間の目安は、水道水圧、洗濯物の量、排水条件などにより異なります)
- ●洗い時間、脱水時間は、実際に運転する時間とは異なる場合があります。
- ●(　)は、手動で切り替え設定したときの目安時間です。

○○○ 運転する行程
標準設定内容
各ボタンで切り替えできる内容

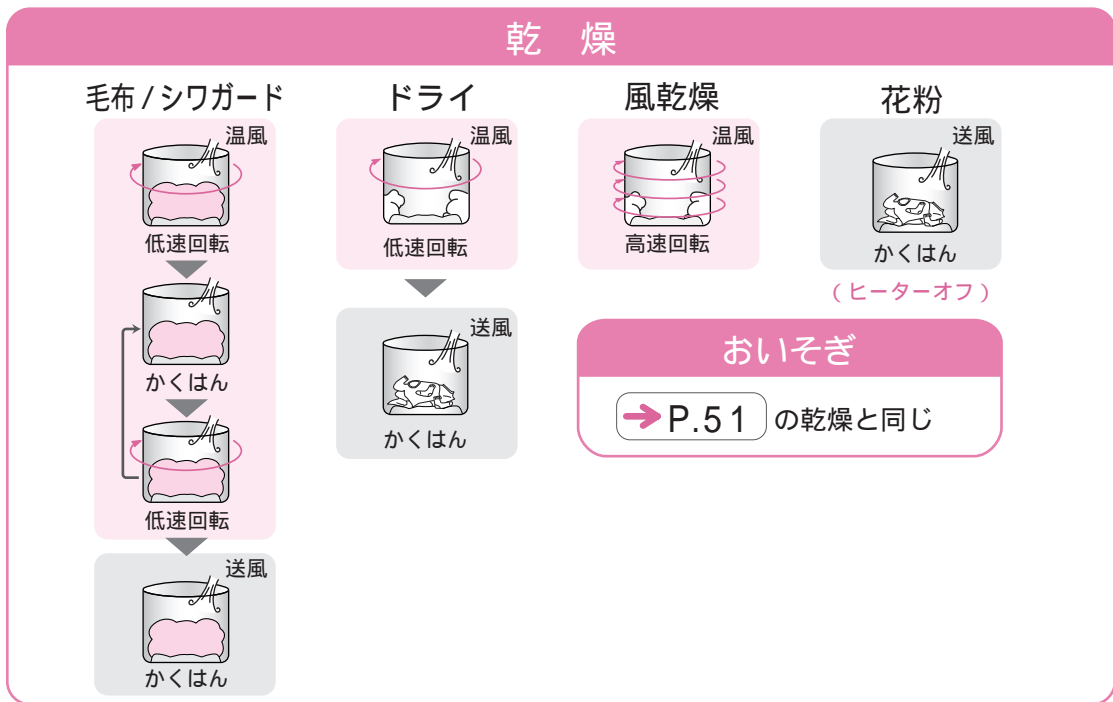
脱水		乾燥		所要時間の目安		
洗濯	洗▸乾	洗▸乾	乾燥	洗濯	洗▸乾	乾燥
7分 1～9分	1分 (1分、7分)※3	自動 30、60、90分、自動	自動 30、60、90分、自動	42分 (21～60分)	1時間半 ～ 3時間半	1時間 ～ 3時間半
7分 1～9分	1分	自動	自動	52分 (21～72分)	2時間 ～ 4時間	1時間 ～ 4時間
7分 1～9分	—	—	—	42分 (21～65分)	—	—
7分 1～9分	7分 (1分、7分)※3	30分 30、60、90分、自動	—	48分	1時間半 ～ 3時間半	—

【コースの切り替えについて】

●電源を入れると、前回運転したコースが表示されます。(洗濯の「標準」「念入り」「ソフト」「手造り」コースの場合)
●設定内容を変更できないコースもあります。

※1 風呂水設定時は、ためすすぎになります。
※2 「洗濯」運転の場合を示しています。「洗▸乾」運転は「ため、注水すすぎ1～2回」までしか設定できません。
※3 「洗▸乾」運転の場合、乾燥時間を「自動」にすると、脱水の表示は「1分」で、それ以外の時間にすると「7分」と表示されます。

全自動コースの運転内容と、変更できる内容(続き)

コース	水量	洗い	すすぎ 1回目	すすぎ 2回目
おいそぎ	48L 20～54L	3分 3～15分	注水すすぎ ためまたは注水すすぎ1～2回	
毛　布	54L 20～54L	25分	注水すすぎ	注水すすぎ
ドライ	35L 20、35L	8分	ためすすぎ	ためすすぎ
シワガード	35L 20～54L	12分	回転シャワーすすぎ2回※1	ためすすぎ
風乾燥	—	—	—	—
花粉	—	—	—	—

※1 風呂水設定時は、ためすすぎになります。

運転する行程

標準設定内容
各ボタンで切り替えできる内容

脱水		乾燥		所要時間の目安		
洗濯	洗▸乾	洗▸乾	乾燥	洗濯	洗▸乾	乾燥
3分 1〜9分	1分	60分	―	30分	1時間半	―
7分 1〜9分	1分	自動	―	61分	4時間	―
1分	―	―	100分※2	28分	―	100分
―	7分	30分	30分	―	1時間半	30分
―	―	―	60、90分	―	―	60、90分
―	―	―	10分※3	―	―	10分

※2 表示は90分が点滅します。
※3 表示は30分が点滅します。

いろいろな使いかた

温度センサー制御を設定・解除したいとき

■室温を検知し、洗い時間をコントロールします。
室温が低い場合は、洗い時間が長くなります。

設定時

「設定あり」のときは、このドットが点灯します。(スタート後消灯)

解除時

解除したときは、ドットが消灯します。

工場出荷時は「設定なし」にしています。設定を変更するときは

1 切/入 を押し、電源を入れる

2

を3秒以上押す

●洗濯と洗▸乾での「標準」「念入り」コースで動作します。
（「洗い」のみなど、設定を変更した場合は動作しません）
●お湯取設定時、温度センサー制御は動作しません。
●連続して洗濯したときなどは、温度センサー制御が動作しない場合があります。
●設定内容は記憶されます。

温風脱水を設定・解除したいとき

■脱水時に温風を吹きかけることで、衣類を温かくやわらかな状態で取り出すことができます。
(「毛布」「ドライ」コース、「洗▸乾」「乾燥」では設定できません)

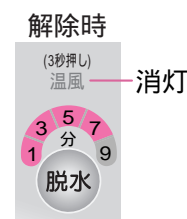
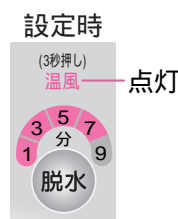
工場出荷時は「設定なし」にしています。設定を変更するときは

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 脱水 を3秒以上押す

●設定内容は記憶されます。

設定時
(3秒押し)
温風 点灯
1 3 5 7 9 分 脱水

解除時
(3秒押し)
温風 消灯
1 3 5 7 9 分 脱水

ご注意 ●温風脱水中に一時停止すると、高温ランプが点灯することがあります。
高温ランプ点灯中はふたを開けられません。
(高温ランプが点灯している間は、洗濯・脱水槽内の温度を下げるため冷却運転を行っています)

ほぐし脱水を設定・解除したいとき

■「洗濯」運転の最終脱水は、脱水終了後にほぐす運転を行い(2～4分)、洗濯物を取り出しやすくします。(「毛布」「ドライ」コースは除く)

工場出荷時は「設定あり」にしています。設定を変更するときは

1 切/入 を押し、電源を入れる

2

を3秒以上押す

●設定内容は記憶されます。

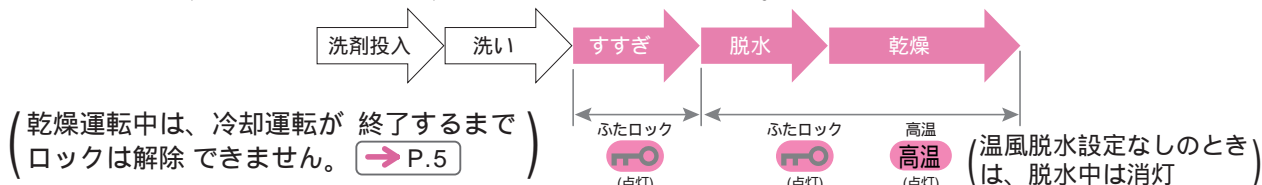
設定時
予約 あと 時間後 分

解除時
予約 あと 時間後 分

ふたロックについて

■安全のため、洗濯や乾燥中は、ふたがロックされます。

(乾燥運転中は、冷却運転が 終了するまでロックは解除 できません。 ➔ P.5)

(温風脱水設定なしのときは、脱水中は消灯)

ふたを開けたいときは(ふたロック中)

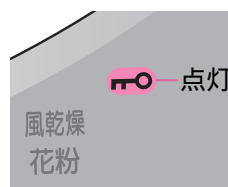
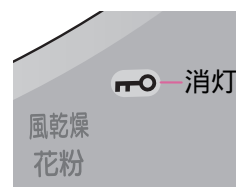
洗濯運転時	乾燥運転時
スタート/一時停止 を押す	スタート/一時停止 を押す
運転動作が止まるとふたロックが解除し、ランプが消灯します。(いたずら防止モード設定時は点滅します) 再スタートするときは、ふたを閉めて、「スタート/一時停止」ボタンを押してください。	洗濯・脱水槽内が高温のため、3～15分の冷却運転後に、ふたロックが解除されます。 乾燥運転を開始してから8～20分の間(コースや洗濯物の量によって異なる)は、一時停止しても再スタートすることができます。 それ以降は、冷却運転後オートオフします。

いたずら防止モード

■洗いの給水後にふたをロックするように設定できます。
　工場出荷時は、「設定なし」にしています。設定を変更するときは

1. ふたを閉め、 切/入 を押し、電源を入れる
2. 洗濯 を押し、「標準」コースを設定する
3. 洗い を3秒以上押す

●設定内容は記憶されます。

設定時

解除時

メロディ(ブザー)音・終了予告音を変更したいとき

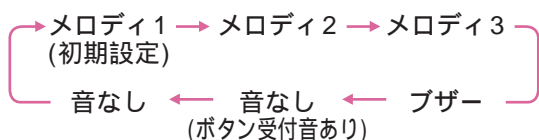
■運転の終了予告(終了10分前)と終了を、メロディ(ブザー)でお知らせします。
■メロディ(ブザー)を変更、または取り消したいときは、

1. 切/入 を押し、電源を入れる

メロディ(ブザー)変更、または消す

2. 水量 を3秒以上押す

次のように切り替わります。

メロディ1(初期設定) → メロディ2 → メロディ3 → ブザー → 音なし(ボタン受付音あり) → 音なし → メロディ1

●設定内容は記憶されます。

終了予告音の設定・解除

2. スタート/一時停止 を3秒以上押す

●工場出荷時は「設定あり」にしています。
●設定完了は「ピッ・ピッ・終了予告音」、設定解除は「ピッ・ピッ・ピッ」でお知らせします。
●脱水中、衣類のアンバランスで脱水をやり直したときは鳴りません。
●設定内容は記憶されます。

いろいろな使いかた(続き)

ふんわりガードを設定・解除したいとき

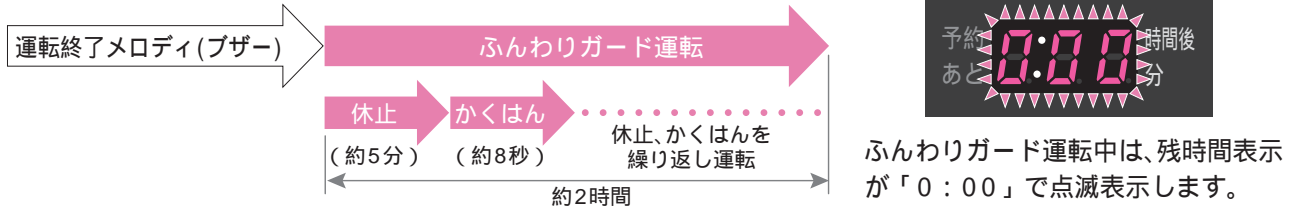
■乾燥終了後、洗濯物を取り出すまで、ふんわり感を保つため、かくはん運転を行います。(「毛布」「ドライ」「シワガード」「風乾燥」「花粉」コースは除く)

ふんわりガード運転 10秒間かくはんを5分間隔で約2時間運転します。ふたを開けると終了します。

運転終了メロディ(ブザー) → ふんわりガード運転

休止(約5分) → かくはん(約8秒) …… 休止、かくはんを繰り返し運転

約2時間

ふんわりガード運転中は、残時間表示が「0：00」で点滅表示します。

工場出荷時は「設定なし」にしています。設定を変更するときは

1. 切/入 を押し、電源を入れる
2. を3秒以上押す(洗▸乾 の隣のボタン)

●設定内容は記憶されます。
●設定完了は「ピー」で、解除したときは「ピッ」でお知らせします。

乾き具合を調節したいとき

■乾燥後の洗濯物の乾き具合は、洗濯物の量、大きさ、質によって異なります。お客様のご使用状況に合わせて、調節してください。

工場出荷時は「標準」にしています。設定を変更するときは

1. 切/入 を押し、電源を入れる
2. 洗▸乾 を押し、「標準」コースを点灯させる
3. 乾燥 を3秒以上押す(脱水 の隣のボタン)

●設定内容は記憶されます。

表示	設定
H:88	「強め」：乾きムラが多いとき(シワが多くなります)
-:88	「標準」：工場出荷時

念入りコースですすぎ3回を設定・解除したいとき

■注水すすぎ3回、ためすすぎ3回を設定します。(「洗濯」運転でのみ設定できます)

工場出荷時は「設定なし」にしています。設定を変更するときは

1. 切/入 を押し、電源を入れる
2. 洗濯 を押し、「標準」コースを点灯させる
3. すすぎ を3秒以上押す

「ピピッ」でお知らせします。

4. を押し、「念入り」を点灯させる

注水すすぎ3回が表示されます。

ためすすぎ3回を設定するときは

5. を6回押す

ためすすぎ3回が表示されます。

●設定内容は記憶されます。

洗濯・脱水槽のカビを防ぐ／カビを取る

準備 水栓を開ける

1 切/入 を押し、**電源を入れる**

2 カビブロック を押し、**運転したいコースのランプを点灯させる**

槽洗浄　　　槽乾燥

希望の運転時間を表示させる

 または

（3時間）　（11時間）

■お湯取設定したいときは ➔ P.28

お湯取 **を押し、運転したい行程のランプを点灯させる**

市販の塩素系漂白剤または洗濯槽クリーナーを洗濯・脱水槽に直接入れる

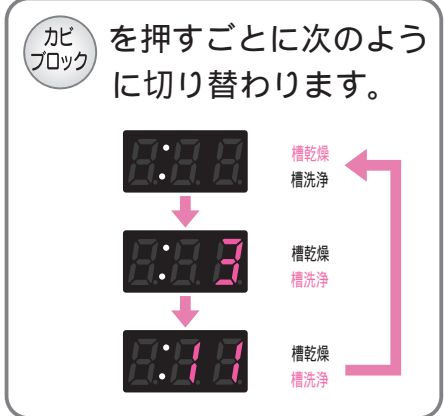
3 内ふた、ふたを閉めて、

スタート一時停止 **を押す**

メロディが鳴ったら終了です。

洗濯・脱水槽の動き：槽洗浄

給水 ▶ かくはん（約15分） ▶ 停止（3時間：約105分／11時間：約590分） ▶ すすぎ・脱水は「標準」コースと同じ ▶ 送風　乾燥30分

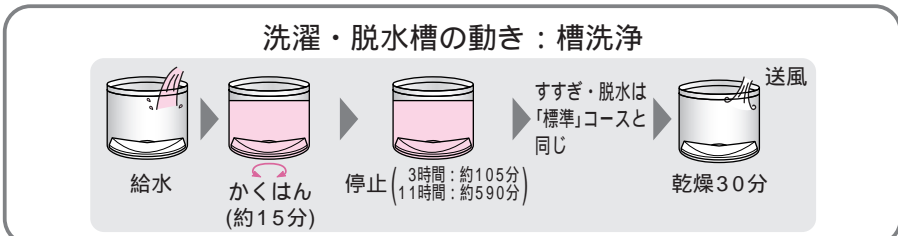
カビブロック **を押すごとに次のように切り替わります。**

カビを防ぐ

槽乾燥	**30分間の乾燥運転で、洗濯・脱水槽を乾燥させ、黒カビの発生を抑えます。**

カビを取る

槽洗浄	**洗濯・脱水槽に発生した石けんかすや黒カビを洗い落とし、洗濯・脱水槽を乾燥します。**

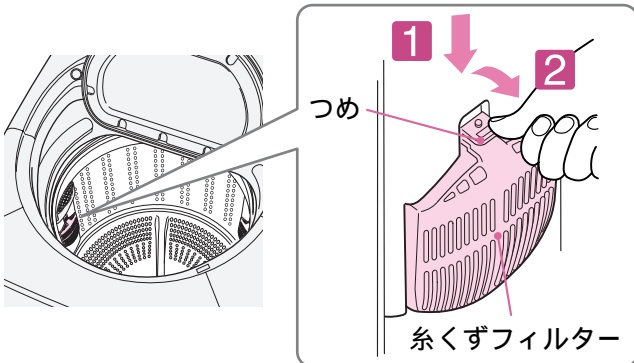
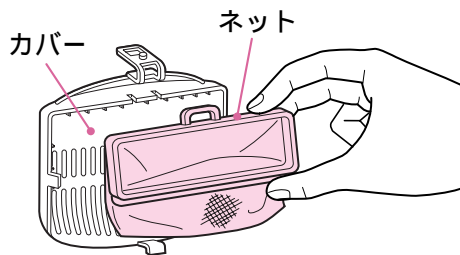
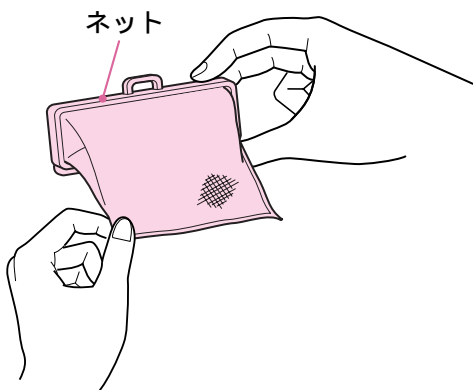
こんなときに

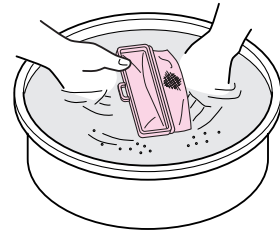
（3時間）	（11時間）
2か月に一度程度	**石けんかすが発生したとき しっかり掃除したいとき**
市販の塩素系漂白剤500mLを使う。	**別売りの洗濯槽クリーナーを使う** ➔ P.75

お手入れ

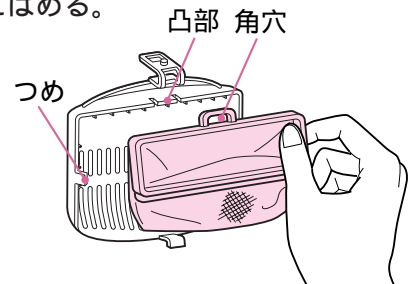
糸くずフィルター（お手入れは、洗濯ごとにしてください）

1 フィルターを取り出す

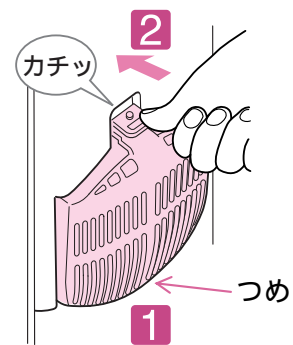
1 つめを押したまま

2 手前に倒す

2 カバーからネットを外す

3 ネットを裏返しにする

4 糸くずを取り除き、目詰まりを洗い落とす

●目詰まりがひどい場合は、歯ブラシなどで掃除します。

5 ネットを元に戻す

●凸部と角穴を合わせて、左右のつめにはめる。

6 フィルターを元どおり取り付ける

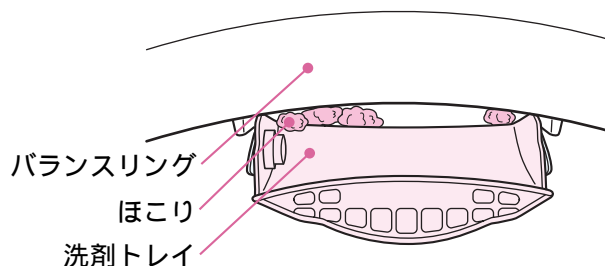
1 カバー下部のつめを入れて

2 カチッと音がするまで押し込む

●糸くずフィルターは消耗品です。ネットが破れたときは、販売店でお買い求めください。→P.75
糸くずフィルター（型式NET-KD8BX）

ご注意
●糸くずフィルターを取り出したとき、洗濯・脱水槽のくぼみにヘアピンや硬貨などを落とさないように注意してください。
●糸くずフィルターを外した状態で洗濯をしないでください。
衣類を傷める恐れがあります。

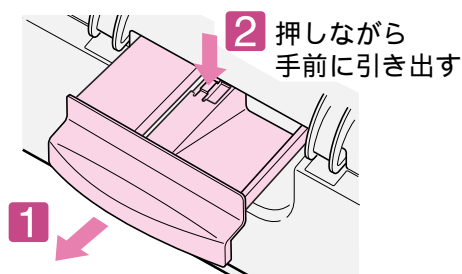
洗剤トレイ（洗剤やほこりが残っていたり、汚れていたら）

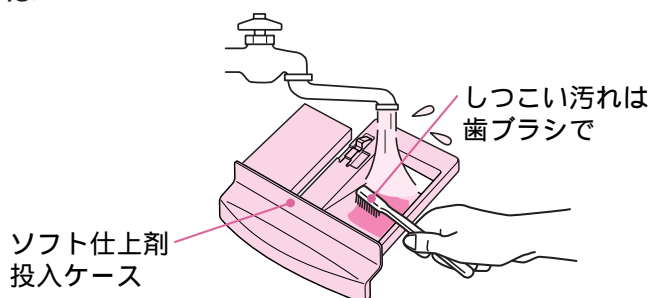
●洗剤が残っている場合は、ふき取るか水で洗い流してください。
●汚れがひどいときは、約40℃のお湯で洗い流してください。
●洗剤トレイの水気をふき取ってください。

●乾燥運転時に発生したほこりが、洗剤投入部に付着する場合があります。
（特にタオルなどを乾燥した場合）
ほこりが付着した場合は、水で洗い流してください。

ソフト仕上剤投入ケース（ソフト仕上剤が残っていたり、汚れていたら）

1 ソフト仕上剤投入ケースを取り出す

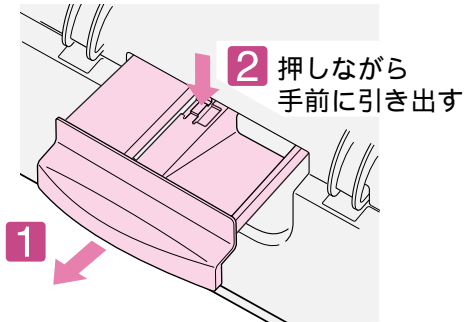
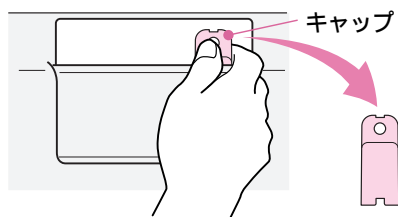
1 ケースを引き出し

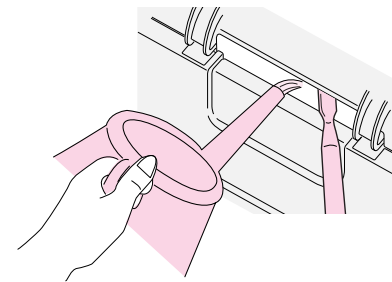
2 ケース突起部を押しながら
さらに手前に引き出す

2 水洗いするか、しつこい汚れは歯ブラシなどで洗う

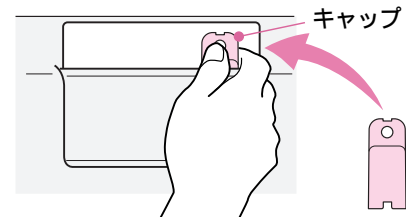
3 水気をふき取り、元どおり取り付ける

●汚れがひどいときは、約40°Cのお湯に約5分間浸し、歯ブラシなどで掃除してください。
●凍結したときは、ソフト仕上剤投入ケースに約40°Cのお湯を入れてください。

お手入れ(続き)

給水ボックス（仕上剤が残っていたり、汚れていたら）

1 ソフト仕上剤投入ケースを取り外す

2 内部のキャップを外し、きれいに洗う

●ソフト仕上剤投入ケースの取り出し口から、キャップをつまみ、取り出してください。

3 ソフト仕上剤投入ケースの取り出し口から水を入れ、歯ブラシなどで内部を掃除する

●水があふれでて、内ふたや周囲に水がかからないように注意してください。

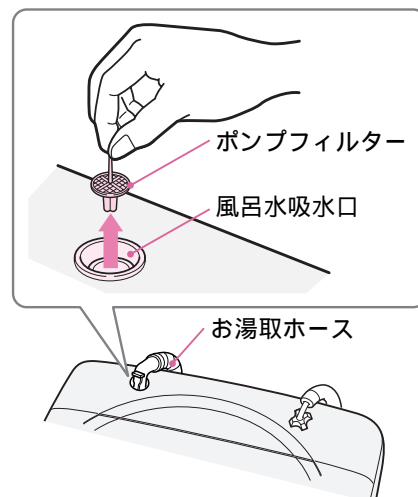
4 キャップを元どおり取り付ける

●キャップには取り付け方向があります。図のように入れてください。
●キャップを元どおり取り付けるときは、根元までしっかり押し込んでください。

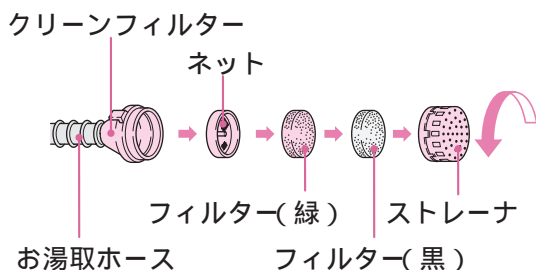
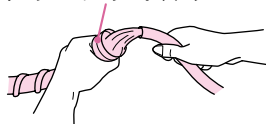
風呂水吸水口（風呂水の吸水が遅くなったら）

1 お湯取ホースを外す ➔ P.27

2 ポンプフィルターを取り外し、水洗いする

●ポンプフィルター中央部の突起をつまみながら引き上げてください。
●指でつまめない場合は、ペンチなどでつまみながら引き上げてください。

3 元どおり取り付ける ➔ P.26

クリーンフィルター（風呂水の吸水が遅くなったら）

1 ストレーナを矢印方向に回して取り外し、フィルターやネットを取り出し、洗浄する

●フィルター(黒)と(緑)を逆に取り付けると、クリーンフィルターが目詰まりしやすくなり、風呂水ポンプ故障の原因になります。

強めの水道水をホースに流し、内部のゴミを洗い流す。

ネット、フィルター、ストレーナを水洗いする。

ネットは歯ブラシなどで掃除する。

2 水気をふき取り、元どおり取り付ける

給水口（水道水の出が悪くなったら）

1 水栓を閉めて、給水ホースを外す。

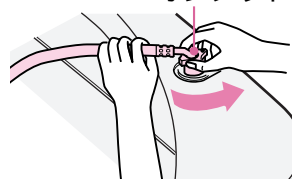
1 水栓を閉めて 切/入 を押し、電源を入れる

2 カビブロック を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ

3 スタート一時停止 を押し、スタートする

4 約10秒間運転し、切/入 を押す

外すときの水の飛び散り防ぐためです。

5 ユニオンナットを緩め外す

2 網にたまったゴミを、歯ブラシなどで取り除く。

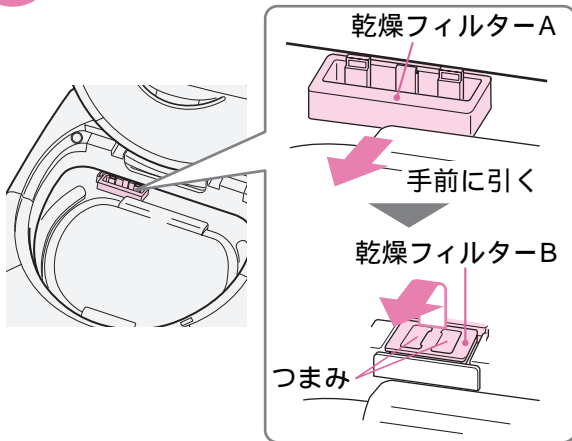
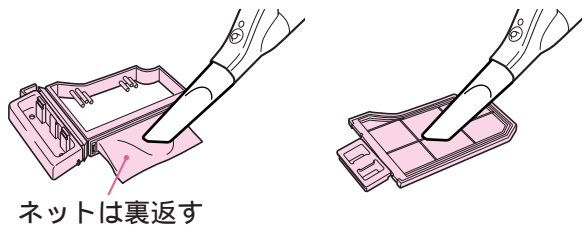
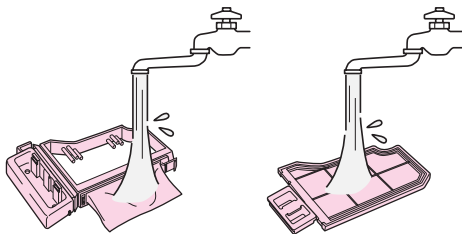
●ゴミが取りにくいときは、網をペンチなどで取り外して掃除する。

●網を外した場合は、元どおりに取り付けてください。取り付けないと、給水弁の故障の原因になります。

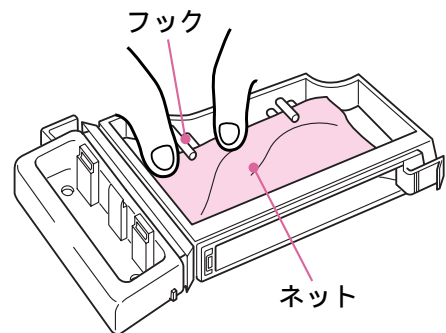
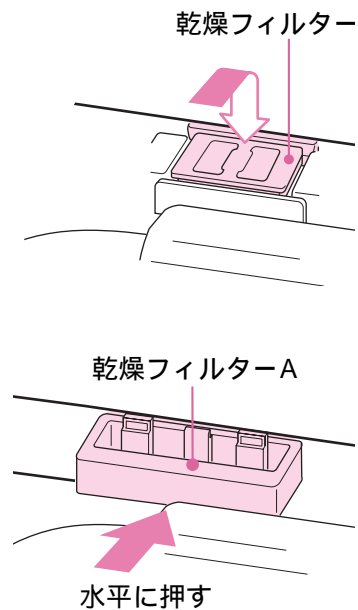
お手入れ(続き)

乾燥フィルター（乾燥フィルターは、乾燥運転を行ったあと、毎回お手入れしてください）

フィルターランプと「C6」が点滅した場合は、そのまま運転を続けると「乾燥時間が長い」「乾きが悪い」などの原因になります。

1 乾燥フィルターA、Bを取り外す

2 ネットを裏返しにして、掃除機で糸くずなどを吸い取る

汚れがひどい場合は洗い流す

洗ったあとは十分に乾かす。

●乾燥フィルターは手でやさしく水洗いしてください。
洗剤・漂白剤で洗わないでください。

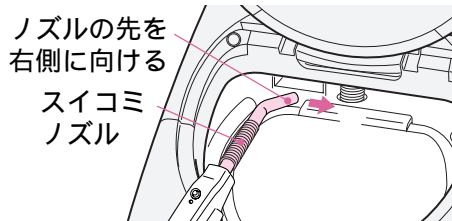
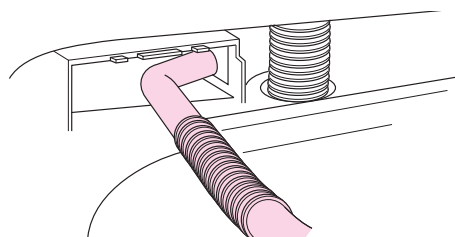
3 乾燥フィルターAのネットを元に戻し、ネットの端をフックに差し込む

4 乾燥フィルターA、Bを元どおり取り付ける

●乾燥フィルターは消耗品です。ネットが破れたときは、販売店でお買い求めください。➔P.75
乾燥フィルターA（部品番号BW-D8GV-013）
乾燥フィルターB（部品番号NW-D8BX-020）

ご注意 **乾燥フィルター(2種類)はきちんと取り付けて使用してください。**
●故障の原因になります。
●「洗濯」運転のときも、乾燥フィルターを取り付けてください。

乾燥フィルター差し込み口（フィルター表示が消えなかったり、「C6」が発生する場合）

乾燥フィルター取り付け部の奥に糸くずが付着している可能性があります。
そのときは、付属のスイコミノズルによるお手入れをしてください。

1 乾燥フィルターA、Bを取り外す

2 スイコミノズルを掃除機の吸口に取り付ける

3 乾燥フィルター取り付け部の奥に付着した糸くずを吸い取る

●スイコミノズルが掃除機の吸口に合わない(緩い)場合には、お使いの掃除機に合わせて下記のようにしてください。
日立製の場合　　：掃除機にアタッチメント(掃除機付属品)を取り付けてください。
日立製以外の場合：スイコミノズルの根元にテープなどを巻いて取り付けてください。

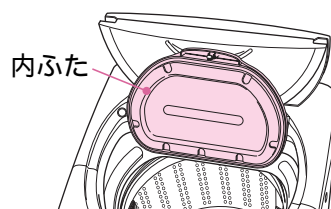
ご注意
お手入れするときは、乾燥運転後に行ってください。
●糸くずに含まれている水分による掃除機の故障を防ぐためです。
乾燥フィルター取り付け部に手や指を入れないでください。
●取り付け内部が狭いため、けがをする恐れがあります。

本体、洗濯・脱水槽（水滴が付いたり、汚れたら）

●本体の水滴や汚れは、柔らかい布でふき取ってください。
●ふたなどのプラスチック部品や、鋼板部品に洗剤やソフト仕上剤が付いたときも、柔らかい布でふき取ってください。
●本体各部に直接水をかけないでください。
●ベンジン、シンナー、クレンザー、アルカリ性洗剤、弱アルカリ性洗剤、ワックスなどでふいたり、たわしでこすらないでください。
●洗濯・脱水槽のさびは、市販のクリームクレンザーでふき取ってください。
金属たわしなどは使わないでください。
●ステンレス槽はさびにくい性質を持っていますが、次のような場合にはさびが発生することがあります。

ヘアピンなどの洗濯・脱水槽への長時間の接触や、鉄粉や赤さびの混じった水の使用。
洗濯・脱水槽内、内ふた周辺の金属部分への塩素系漂白剤や洗剤、ソフト仕上剤の長期間放置。

内ふた（内ふたや、その周辺に糸くずなどが付いていたら）

●内ふたまわりに付いた糸くずなどは取り除いてください。
●内ふたの金属面が汚れたら、湿った布でふき取ってください。

お困りのときは

残時間表示部にこんな表示が出たら

次のときは、表示の点滅やブザーでお知らせします。ただし、万一の誤検知が考えられますので、一時停止か一度電源を「切」にし、再びスタートさせ、同様の異常報知がでる場合は、次の点検を行ってください。

表示とお知らせ内容	確認するところ	直しかた
給水できない 40分たっても満水にならない、または8分たっても規定水位(約10L)にならないとき	●水栓は開いていますか。 ●水道は凍結していませんか。 ●断水していませんか。 ●給水口の網にゴミがたまっていませんか。	一時停止 ▼ 異常を取り除く ▼ 再スタート
排水できない 5分たっても排水が終わらないとき	●排水ホースを確認してください。 ・排水ホースを倒していますか。 ・つぶれていませんか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・糸くずなどが詰まっていませんか。 ・凍結していませんか。 ・途中10cm以上高くなっていませんか。 ・延長ホースが3m以上になっていませんか。 ●排水口(排水トラップ)を確認してください。 ・糸くずなどが詰まっていませんか。	
「乾燥」運転のみの場合で表示されたとき	●洗濯・脱水槽の中に水が入っていませんか。	一度電源を切り「洗濯」運転の「脱水」のみを行う ▼ 運転再開
ふたが開いている	●ふたを閉めてください。 ・洗濯・脱水槽が回転するときは安全のためふたをロックします。	閉じる ▼ 運転再開
脱水途中止まり	●洗濯中の衣類が片寄っていませんか。 (温風脱水設定時は、高温表示が点灯することがあります。高温ランプ点灯中はふたを開けられません。)	一時停止し、片寄りを修正後、ふたを閉め再スタート
高温点滅表示 **槽回転できない(乾燥中)**	●乾燥中の衣類が片寄っていませんか。 (高温表示が点滅しているあいだは洗濯・脱水槽内の温度を下げるために、冷却運転を行っています。冷却運転後、ふたを開けてください。)	電源を切り、再度電源を入れる ▼ 異常を取り除く ▼ 再度乾燥運転
乾燥フィルターが目詰まりしている	●乾燥フィルターが目詰まりしていませんか。	乾燥フィルターのお手入れ ➔P.62 ▼ スタートボタンを押す
乾燥が終わらない	●乾燥フィルターが目詰まりしていませんか。 ●洗濯物は脱水しましたか。 ●洗濯物はからんでいませんか。 ●水栓は開いていますか。(乾燥中も冷却用の水を使用します) ●水道、給水ホースが凍っていませんか。 ●断水していませんか。 ●給水口の網にごみがたまっていませんか。 ●排水ホースを確認してください。 ・排水ホースを倒していますか。 ・つぶれていませんか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・糸くずなどが詰まっていませんか。 ・凍結していませんか。 ・途中10cm以上高くなっていませんか。 ・延長ホースが3m以上になっていませんか。 ●給湯接続していませんか。	電源を切る ▼ 異常を取り除く ▼ 電源を投入し再度乾燥運転

表示とお知らせ内容	確認するところ	直しかた
ふたがロックできない（ふたが完全に閉じていないとき）	●ふたの下に異物などが入っていませんか。 ●ふたが浮いていませんか。 →ふたをきちんと閉めてから一時停止し、再スタートしてください。	表示が消えない場合は、修理を依頼してください。
槽回転できない（洗い、すすぎ、脱水、乾燥）	●洗濯物が片寄っていませんか。 ●本体は水平になっていますか。 → 据付説明書	一時停止し、片寄りを修正後、ふたを閉め再スタート
ふたのロックが解除できない	●ふたの下に異物などが入っていませんか。 ●ふたが浮いていませんか。 →ふたをきちんと閉めてから一時停止し、再スタートしてください。	再度「C9」が出た場合は、修理を依頼してください
フィルター点滅表示 乾燥フィルターが正しく取り付けられていないのでスタートできない	●乾燥フィルターが正しく取り付けられていますか。 （「洗濯」運転のときも、乾燥フィルターを取り付けてください。）	乾燥フィルターを正しく取り付けたら、運転再開
布ほぐし異常 布がからんで布ほぐしできない	●乾燥中や脱水中に衣類が片寄ったり、からんでいませんか。	一時停止し、衣類の片寄り、からみを修正後、ふたを閉め再スタート
フィルター点滅表示 乾燥用フィルターが目づまりしている	●乾燥用フィルターが目詰まりしていませんか。	乾燥フィルターのお手入れ → P.62 電源を入れスタートボタンを押すと消灯します。

●上記以外の異常報知(F1、F8、Fb、FC、Fh、FPなど)がある場合は、外来ノイズによる誤動作が考えられます。一時停止ボタンを押して再スタートし、同様に異常報知した場合、使用を中止して修理を依頼してください。

●衣類をほぐして再スタートしても、「Fd」表示が何度も表示されるときは、使用を中止して修理を依頼してください。

●冷却運転中は、電源ボタンの「切」以外は受け付けません。また、冷却運転中に電源を切り、再び電源を入れた場合、冷却運転を継続することがあります。

お困りのときは(続き)

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

こんなときには		ここを確認してください
運転について	運転しない 運転途中で止まっている	●停電または電流ヒューズ、ブレーカーが切れていませんか。 ●電源プラグは確実に差し込まれていますか。 ●予約に設定していませんか。 ●衣類の片寄りにより、脱水時にアンバランスを検知して60分以上経過していませんか。 ●乾燥フィルターは取り付けていますか。
	運転途中で電源が切れる	●外来ノイズが繰返し入り、運転できない場合やモーターの温度が規定値を超えたときには安全のために電源を切断します。
残時間表示	時間が変わる 実際の運転時間と異なる	●残時間は運転途中に補正しながら表示するので、途中で表示が変わります。 ●温度センサー制御の機能が働いている場合には、自動で運転時間を延長する場合があります。 ●表示の時間はあくまで目安時間のため、洗濯物の布質、大きさ、気温、水温などの運転状態によって変化するので、実際の時間とは異なります。
	運転開始直後の残時間表示が増える(減る)	●前回運転時の給水時間を記憶し、計算しているためです。水道水圧や水栓の開き具合が変わると、運転開始直後の残時間表示も変わる場合があります。
	残時間が減らないで点滅する	●あと「10分」、「20分」と表示されてから、1～2時間運転を続けることがあります。 →規定の乾き具合になるまでセンサーで検知し、運転するためです。
	残時間が点滅する	●脱水後のほぐし動作をしているためです。 ●温風脱水時の冷却動作をしているためです。
	予約時間が過ぎても運転が終了しない	●給水量が少ない場合には、仕上がり時間を越えて運転することがあります。
乾燥	乾燥時間が長い 乾きムラがある	●乾燥フィルターが目詰まりしていませんか。➔ P.62 ●洗濯物は脱水しましたか。 ●洗濯物はからんでいませんか。 ●水栓は開いていますか。 ●水道、給水ホース、排水ホースが凍っていませんか。➔ P.72 ●断水していませんか。 ●給水口の網にごみがたまっていませんか。➔ P.61 ●乾き具合設定を「強め」にして運転してください。➔ P.56 ●排水ホースを確認してください。 ・排水ホースを倒していますか。 ・つぶれていたり、糸くずなどが詰まっていませんか。 ・先端が水につかっていたり、途中10cm以上高くなっていませんか。 ・延長ホースが3m以上になっていませんか。 ●室温が5°C以下、または30°C以上のときは、乾燥時間が長くなります。 ●水温が30°C以上のときは、乾燥時間が長くなります。

■電源オートオフについて

●運転が終了すると、自動的に電源が切れます。
●次の状態で1時間以上放置すると、自動的に電源が切れます。
- 一時停止の状態
- ふたを開けたままの状態
- 64、65ページのような異常報知状態

●電源を入れ、スタートボタンを押さないで5分放置すると、自動的に電源が切れます。

こんなときには		ここを確認してください
風呂水	風呂水を吸水しない 風呂水を選んだのに水道水を給水する	●スタート後、約15秒間は水道水で運転します。(呼び水給水) ●水面から吸水口までの高さが1.2mを超えると、吸水できない場合があります。 ●クリーンフィルターにゴミなどが詰まっていませんか。 ●発泡、ゼリー、とろみタイプの入浴剤を使用していませんか。 ●洗いやすすぎの初めには水道水を給水します。 ●10分たっても風呂水が吸水されない場合には、自動で水道水による運転に切り替わります。
	スタートしてもすぐに風呂水が吸水されない	●お湯取ホース内の空気を抜き、風呂水を吸い上げ始めるのに約3分間かかります。
ふたについて	ふたが開かない 脱水中、一時停止してもふたが開かない	●電源スイッチを入れてください。 →ふたをロックした状態で電源を切にすると、ふたがロックされたままになります。電源を入れるとロックを解除します。 ●脱水中は一時停止しても、洗濯・脱水槽が停止するまではふたは開けられません。 ●「高温」ランプが点灯していませんか。 →洗濯・脱水槽内が高温の場合には冷却運転が終わるまでふたのロックが解除できません。
	脱水中、電源を切ったあと、電源を入れても、ふたがロックしたままになる	●脱水の惰性回転が止まるまでは、ふたロックを解除しません。(約3～5分間)
	運転中ふたが開かない	●いたずら防止モードの設定になっていませんか。➔ P.55
	内ふたを開けたときに水が垂れる	●洗濯中に飛び跳ねた水により内ふたの内側がぬれているためです。 ●乾燥後、時間がたつと洗濯・脱水槽内の暖かい空気により、結露した水がつきます。 →運転終了後は、できるだけ早めに取り出してください。
排水口	排水口が詰まる	●お使いの排水トラップの形状によっては糸くずが詰まる場合もあります。 →排水口は定期的に清掃してください(1回/月)。 ●別売りの「糸くずボックス」を販売店でお買い求めください。 →「糸くずボックス」WLB-1 希望小売価格 3,570円 ➔ P.75
におい	本体からにおいがする 衣類ににおいがつく	●ご使用初期に機器(ゴムや樹脂、ワニス)などのにおいがすることがあります。 →初期的なもので10回程度ご使用になるとにおわなくなります。 ●入浴剤の入った残り湯を洗濯、乾燥に使用した場合、洗濯物ににおいがつく場合があります。 ●排水状態が悪い場合や泡の量が多すぎる場合には、運転中のモーターの温度が高くなりにおいがつよくなることがあります。 ●乾燥運転時、排水口からのにおいを吸い込み、衣類にしみつくことがあります。 →気になる場合は、別売りの「洗濯機用排水トラップ」を設置してください。➔ P.75 ●定期的に「槽乾燥」コースを運転してください。➔ P.57 ●洗濯・脱水槽ににおいが残っている場合には、「槽洗浄」コースを運転してください。➔ P.57
音・振動について	変わった音がする	●本体が傾いたり、がたついたりしていませんか。 ●ヘアピンやコインなど異物がまぎれこんでいませんか。

お困りのときは(続き)

こんなときには		ここを確認してください
音・振動について	運転途中で外枠の振動が大きくなる	●乾燥中に送風ファンの回転数を変えたときなどに大きくなることがあります。 ●脱水時の回転を段階的に上げており、変化の途中で大きくなることがあります。
	洗濯・脱水槽を動かすと「シャワシャワ」と音がする	●脱水時の振動を低減するためのバランスリングの音です。
	運転中に「カチャ」「カツカツ」と音がする	●クラッチ切り替え動作の音です。
	運転中に「ピー」と音がする	●モーターの運転音です。
	脱水中に「シュシュ」「ヒュルヒュル」と音がする	●防振装置の動作音です。
	脱水の高速回転中に「カラカラ」と音がする	●脱水回転数を制御するときに、モーターと洗濯・脱水槽の連結部から発生する音です。衣類の量や片寄りにより、ある領域で連続的に出ることがあります。
	乾燥運転時に「ブォー」「ピー」と音がする	●送風ファンの運転音です。
	乾燥運転中に「シャーッ」と音がする	●除湿乾燥用の冷却水を流している音です。
	乾燥運転時に「ジャワジャワ」「シャパシャパ」と音がする	●マイナスイオン発生のための水しぶきの音です。
	給水時に「ポコポコ」と音がする	●風呂水ポンプ内の空気が動いている音です。
	風呂水吸水中に「ウィーン」と音がする	●風呂水ポンプを運転している音です。 →音が変化しますが、異常ではありません。
	給水中の給水音が大きい	●水道水圧が高いと給水音が大きくなることがあります。 音が気になる場合は、水栓を絞ってお使いください。
	メロディ(ブザー)音・終了予告音が鳴らない	●メロディ(ブザー)音・終了予告音を消す設定になっていませんか。 ➔ P.55
洗剤	衣類に洗剤が残る 洗剤ケースや洗濯・脱水槽に洗剤が溶け残る	●洗剤は必ず洗剤トレイに入れてください。 ➔ P.24 →直接洗濯・脱水槽に投入すると、溶け残りが生じることがあります。 ●洗剤を入れすぎていませんか。 →洗剤量については ➔ P.22、23 ●銘柄によっては、水温が低いときに溶けにくいことがあります。 ●石けん(天然油脂)は十分に溶かしたあと、洗濯・脱水槽に入れてください。 ➔ P.30 ●気になる場合は、水位を高めに設定してください。
洗い	汚れが落ちない	●衣類の量を減らしたり、「念入り」コースで運転してください。 洗剤は必ず洗剤トレイに入れてください。 ●泥汚れや食べこぼしなどの固形の汚れの場合には、あらかじめ前処理をしていただくか水位を高めにしてコースを使用してください。
給水について	洗濯の途中で給水する	●洗濯中に水位が下がると、自動的に給水されます。
	給水されない	●すすぎから始めたときは排水、脱水をしてから給水します。 ●給水経路を確認してください。 ➔ P.64

こんなときには		ここを確認してください
給水について	すすぎの給水中に排水する	●脱水動作中に泡が多いと検知した場合には、排水して泡を排水します。→洗剤量を適正な量にしてください。➔ P.22
	給水ホースから水漏れする	●水栓の形状は適していますか。 ●ワンタッチつぎての取付や、ユニオンナットの締め付けがゆるんでいませんか。
	給水途中にかくはん翼が回転せずに、約1分間給水が停止する	●外来ノイズなどの影響で、センサーの検知に時間がかかっているためです。
	給水ホースをセットして水栓を開くと給水口から水が出る	●ウォーターハンマー低減弁を使用しているため、弁の閉止に時間がかかるためです。
すすぎについて	少量洗濯時、回転シャワーすすぎの水が衣類にかからない	●洗濯物の量が少ないとき、シャワーがかかりにくい場合がありますが、すすぎ性能は問題ありません。
	回転シャワーすすぎがためすすぎまたは注水すすぎに変わる	●アンバランス検知し、バランス修正のための動作を行ったためです。
脱水について	脱水中に給水する	●洗濯物の片寄りを直すために運転内容を変更しています。 →片寄りが大きいと安全スイッチが働き、バランスを修正します。 ●すすぎの脱水時に安全スイッチが働くと、次のすすぎは注水すすぎに変わることがあります。
	脱水の途中ですすぎに変わり給水する	●洗濯物が片寄って、アンバランスを検知したためです。 脱水・かくはん運転を行い、布の片寄りをほぐしたあと、再度脱水します。
	間欠的に脱水する	●脱水を効果的に行なうためにセンサーにより回転数を制御しているためです。
	ほぐし動作をしない	●ほぐし脱水設定が解除されていませんか。➔ P.54 ●衣類の量が多くありませんか。 ●脱水のみまたはすすぎから運転していませんか。
	「ソフト」コースでセンサー計測後に脱水表示が減る	●洗濯する量により、脱水時間を制御しているためです。
	「念入り」コースでセンサー計測後に洗い表示が減る	●洗濯する量により、洗い時間を制御しているためです。
水位について	洗濯量に対して水位が低い	●洗濯物が水面から少し出る程度に水位を設定しています。かくはんにより、上下を入れ替えながら洗います。 ●化繊、ポリエステルなどの衣類は軽いため水位が低くなることがあります。
	洗濯量に対して水位が高い	●ぬれた衣類や洗濯・脱水槽に水が残っているときは、水位が高くなります。
	洗いの途中で排水する	●水をためた状態で運転をスタートした場合、水量が多いと水跳ねを防止するため排水することがあります。
糸くず	糸くずが気になる 衣類に糸くずが残る	●市販の「糸くず防止用洗濯ネット」をご使用ください。➔ P.19 ●水位を高めに設定したり、洗濯時間の延長、すすぎの設定を多くしたりすると糸くずが取りやすくなります。 ●糸くずフィルターをお手入れしてください。➔ P.58 ●上記によっても改善されない場合は、内部に固形の汚れがたい積している可能性があります。 「槽洗浄11時間」コースでお手入れしてください。➔ P.57

お困りのときは(続き)

こんなときには		ここを確認してください
シワについて	洗濯シワが気になる 乾燥シワが気になる	●洗濯物がからんでいませんか ●乾燥前に洗濯物のシワを伸ばしてください。 ●「シワガード」コースを使い、運転終了後直ぐに吊り干ししてください。 ●30分乾燥後直ぐに吊り干しをしてください。 ●洗濯物の量を少なく(約2kg以下)してください。 ●乾燥終了後は、洗濯物をすぐに取り出すか、ふんわりガードを設定してください。→P.56
電源ボタンについて	電源ボタンを「切」→「入」すると受け付けないことがある	●電源を切ったあと約5秒間(コース表示のランプが消灯するまで)は電源ボタンを受け付けません。再度電源を入れたいときは、ランプが消灯してから電源ボタンを押してください。
	電源を入れてもすぐに表示ランプが点灯しない	●電源を入れると、「ピッピッ」という受付音がし、約1秒後に表示ランプが点灯します。 (ソフトスイッチのため、マイコンの内部処理に少し時間がかかるためです)
ランプ点灯について	スタート直後、水量の「54L」ランプが点灯する	●洗濯・脱水槽内にあらかじめ水が入っているためです。(20L以上)
	注水すすぎにしていないのに「注水」ランプが点灯する	●アンバランスを検知し、バランス修正のための動作を行なったためです。
結露ついて	表示部やふたの透明リング部が曇る	●洗濯時に風呂水を利用したり、温風脱水を使った場合には蒸気で曇ることがあります。 ●乾燥中は衣類の質や量、外気温によって結露することがあります。
	ソフト仕上げ剤投入口に水が残っている	●乾燥時の蒸気や乾燥終了後の結露により、水が残ることがあります。 ●仕上げ剤投入時の残水が残ることがあります。
	結露で床面がぬれている	●乾燥中の湿気で結露することがあります。別売部品「洗濯機用トレー」を購入し、設置してください。→P.75
乾燥フィルターについて	電源を入れると「フィルター」ランプが点灯し、残時間表示部に「C6」の表示が出る	●乾燥フィルターが目詰まりしたときは、電源を入れたときに「フィルター」ランプを点灯し、残時間表示部に「C6」の表示が点滅します。 →スタートボタンを押すと消灯します。 乾燥フィルターを掃除したあとでも、電源を入れると表示しますが、異常ではありません。
	乾燥運転終了後、「フィルター」ランプが点滅している	●乾燥フィルターの目詰まりを検知したためです。 →ふたを開けると消灯します。
	乾燥フィルターが濡れている	●洗濯で風呂水や温水を利用すると、蒸気で乾燥フィルターが湿る場合があります。 →異常ではありません。 ●乾燥運転の途中で止めた場合や、洗濯物が完全に乾かずに終了した場合には湿る場合があります。 ●乾燥フィルターが目詰まりしていると、湿る場合があります。
初めて使用する際に	排水ホースから水が出る	●工場出荷時の性能テスト時の残水です。 →異常ではありません。
	洗濯・脱水槽が濡れている	●工場出荷時の乾燥の試験で、外気温によって結露した水分が付着したためです。→異常ではありません。

こんなときには		ここを確認してください
その他	スタートボタンを押してかくはん翼が回転しても、洗濯量と水量の表示が出ず、残時間表示部が「ー:ーー」表示のままになる	●外来ノイズなどの影響で、センサーが正しく検知できないためです。電源を一度切り、もう一度やり直してください。
	運転終了後に水滴が垂れる	●運転後､給水経路に残った水滴が垂れる場合があります。 →衣類を取り出す際に、洗濯脱水槽をできるだけ揺らさないようにしてください。
	運転終了後に送風ファンが動作する	●送風ファンの動作確認のために運転しています。
	ブレーカが作動する	●同一配線に他の機器が接続されていませんか。 ●専用の15A以上のコンセントを使っていますか。
	洗濯・脱水槽が変色する	●水や洗剤に含まれる成分が洗濯・脱水槽の表面に付着し、酸化皮膜を形成するためです。→異常ではありません。 ●気になる場合は、市販のステンレス専用清掃剤でふき取ってください。
	水がたまらない(バケツなどで水を入れるとき)	●電源は入っていますか。 (排水の途中で電源を切ったり停電があると、排水バルブが開いたままになっているためです。電源を入れるとバルブが閉まります)
	本体内部に物を落としてしまった場合	●本体を移動して床面を確認してください。 床面に落ちていない場合は、使用を中止し、修理を依頼してください。

点字について

操作パネルの点字内容

●操作パネルの各ボタンには、点字を付けています。下図のカタカナ表記が点字の内容です。
一部のものは省略表示になっています。

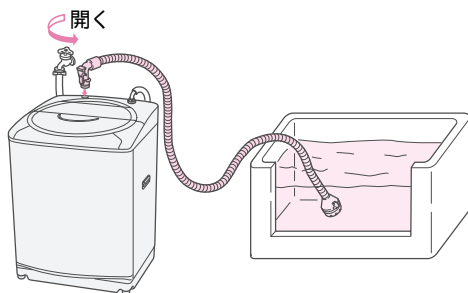
もしものとき

凍結の恐れがあるとき

1. **水栓を閉める**
2. **電源を入れ、「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押して運転する**
3. **給水ホースを外し、下に向ける** →据付説明書P.12
   ●給水ホース内に付着した水滴がたれるので、給水ホースの先にバケツなどの容器を置くかぞうきんなどで水を受けてください。
4. **約30秒間運転して一時停止ボタンを押す**
   ●給水ホース内の残水を抜きます。
5. **お湯取ホースをセットしている場合は、浴槽からクリーンフィルター(お湯取ホース)を取り出し、吸水つぎてを外す** →P.27
6. **排水ホースを排水口に差し込む**
7. **「脱水のみ」を設定して、30秒ぐらい運転する** →P.46
8. **一時停止ボタンを押してから、電源を切る**
   ●洗濯・脱水槽と排水ホース内の水を抜き、排水バルブを開いたままにするためです。

寒冷地でのご使用など凍結の恐れのある場合は、本体のうしろ側（上部）を毛布などで保温してください。

もし凍結したときには

1. **給水ホースを外し、約40℃のお湯につける**
   ●お湯取ホース、クリーンフィルターも同様にお湯につけます。
2. **約40℃程度のお湯を、洗濯・脱水槽に2～3L入れ、約10分間放置する**
3. **給水ホースおよびお湯取ホースをつなぎ、水栓を開ける**

4. **電源を入れ、スタートボタンを押し、放置する(給水弁を解凍します)**
   ●通電時の熱で給水弁が解凍され、給水しはじめます。(約20分程度)
5. **次の3点を確認する**

(1)手で洗濯・脱水槽を回せるかどうか
➡ 回せることを確認

(2)電源を入れ「脱水のみ」→P.46をスタートし、排水するかどうか
➡ 排水することを確認

(3)風呂水が吸水されるかどうか
➡ 吸水することを確認

風呂水ポンプの解凍には、時間がかかる場合があります。吸水できないまま運転した場合は、自動的に水道水に切り替わります。

※確認できない場合は、2～4を繰り返してください。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は､｢お買い上げ日･販売店名｣などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

洗濯乾燥機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→ P.74 にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

64～71ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って､販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	電気洗濯乾燥機
型　式	NW-D6HX
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外でご使用になるとき

理容院や美容院などでタオルなどの洗濯・乾燥に、また、寮や病院などで共同でご使用になり、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換（駆動部ユニット、フィルターなど）が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをお勧めします。
●このようなご使用は、保証期間の対象外となります。

愛情点検

★長年ご使用の洗濯乾燥機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●洗濯・脱水槽が止まりにくい。 ●水漏れがする。(ホース、水槽、給水つぎて) ●こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ●本体にさわるとピリピリ電気を感じる。 ●据付が傾いたりグラグラしている。 ●電源を入れても、動かないときがある。 ●タイマーが途中で止まることがある。 ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●その他の異常・故障がある。 ●電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。 ●乾燥時間が異常に長くなった。	ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

保証とアフターサービス(続き)

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00～19:00 (365日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

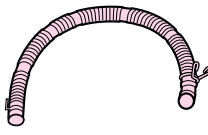
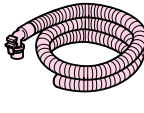
商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

仕様

本 体

型式	NW-D6HX
種類	電気洗濯乾燥機
電源	100V、50-60Hz共用
標準洗濯容量 標準脱水容量	6kg（乾燥状態での布質量）
標準乾燥容量	3.5kg（乾燥状態での布質量）
標準水量	54L（洗濯「標準」コース）
標準使用水量	洗濯時115L（洗濯「標準」コース） 洗乾時148L（洗乾「標準」コース）
電動機の定格消費電力	300W（50-60Hz）
電熱装置の定格消費電力	1050W（50-60Hz）
定格消費電力	1140W(30℃)（乾燥「標準」コース）
洗濯方式	うず巻式
水道水圧	0.03～0.8MPa {0.3～8kgf/cm^2}
外形寸法	幅582mm×奥行600mm×高さ1015mm
質量	45kg

風呂水ポンプ(本体に内蔵)

定格消費電力	40W（50-60Hz）	揚水量	毎分14L (全揚程1.2m、ホース長さ4mのとき)
定格電圧	DC 24V	お湯取ホース内径	15mm（市販のホースは使えません）
定格電流	DC 1.7A		

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。価格は、2008年9月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

■お洗濯キャップ（MO-F63） （部品番号MO-F63-001） 希望小売価格 1,260円 (税抜1,200円)	**■洗濯機用トレー（YT-1）** ●結露による水滴から床を守ります。 希望小売価格 7,350円 (税抜7,000円)
■糸くずフィルター(2セット入) （型式NET-KD8BX） 希望小売価格 630円 (税抜600円)	**■全自動専用設置台（UP-D2）** ●本体を高くするとき、および防水パンに入らないときの設置に使用します。 希望小売価格 5,250円 (税抜5,000円)
■お湯取ポンプフィルター(緑)(黒) セット （お湯取クリーンフィルター用） （部品番号NW-8S3-041） 希望小売価格 315円 (税抜300円)	**■洗濯機用防水パン（TP-780）** ●本体からの水漏れや、結露による水滴から床を守ります。 希望小売価格 12,600円 (税抜12,000円)
■ストレーナ （部品番号NW-60RS1-048） 希望小売価格 315円 (税抜300円)	**■延長用排水ホース(約80cm)** （部品番号KW-50K1-023） ●排水ホースの延長用に使用します。 希望小売価格 840円 (税抜800円)
■お湯取ポンプネット （お湯取クリーンフィルター用） （部品番号NW-7S-057） 希望小売価格 315円 (税抜300円)	**■直下排水Ｌ形パイプ（HO-P5）** 希望小売価格 1,050円 (税抜1,000円)
■ポンプフィルター （部品番号BW-DV9F-081） 希望小売価格 315円 (税抜300円)	**■洗濯槽クリーナー（SK-1）（塩素系/1500mL）** ●洗濯槽に付着した石けんかすなどを落とすときに使います。 希望小売価格 2,100円 (税抜2,000円)
■乾燥フィルターA （部品番号BW-D8GV-013） 希望小売価格 945円 (税抜900円)	**■お湯取ホース(約7m)** （部品番号NW-9S3-028） 希望小売価格 1,890円 (税抜1,800円) ●クリーンフィルターは付いていません。
■乾燥フィルターB （部品番号NW-D8BX-020） 希望小売価格 840円 (税抜800円)	**■お湯取ホース(約5m)** （部品番号NW-9S3-029） 希望小売価格 1,785円 (税抜1,700円) ●クリーンフィルター付きです。
■糸くずボックス（WLB-1） （同梱排水ホース：長さ80cm） ●排水ホースに取り付け、洗濯・乾燥中の糸くずなどを集めて取り除きます。 希望小売価格 3,570円 (税抜3,400円)	**■洗濯機用排水トラップ（YT-T1）** ●排水口からの逆流やにおいを防ぎます。 **排水トラップの取り付けには、住宅工事の工務店などの工事が必要です。** **工務店にご相談のうえ、お買い求めください。** 希望小売価格 4,200円 (税抜4,000円)

●上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

このマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率が基準値以下であることを示しています。
（規定の除外項目を除く）　JIS C 0950：2008

詳しい環境情報は、当社のホームページでご覧いただけます。http://www.hitachi-ap.co.jp/company/environment/kankyo/

お客様メモ

後日のためにご記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　**電話（　　）　-**

ご購入年月日　　　　**年　　月　　日**

廃棄時にご注意ください。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯乾燥機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12

3-K2975-3
J8(C)